

自：令和 4 年 4 月 1 日

至：令和 5 年 3 月 31 日

令和 4 年度

【事業実施報告書】



社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会



## 【目 次】

第2次五所川原市地域福祉活動計画【ささえあいプラン】体系図

・・p.1

=事業実績（実施状況）=

つながり、ささえあう福祉の『地域づくり』の推進

### 第1 住民主体の地域福祉活動の推進

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| ①. 地域見守り支え合い事業      | ・・p.2 |
| ②. 地域における共助の基盤づくり事業 | ・・p.3 |
| ③. 社会福祉法人等連絡協議会運営事業 | ・・p.3 |

### 第2 地域の交流の場・機会の創出

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| ①. 生活支援体制整備事業        | ・・p.3 |
| ②. ふれあいいきいきサロン       | ・・p.4 |
| ③. ひとり暮らし高齢者のつどい実施事業 | ・・p.4 |

### 第3 各当事者団体への支援

- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| ①. 各当事者福祉団体への支援（事務委託事業）    | ・・p.4 |
| ②. 小規模地域ネットワーク・福祉団体活動費助成事業 | ・・p.8 |

安心して暮らせる福祉の『まち・人づくり』の育成

### 第1 ボランティア活動の促進と支援、担い手の育成

- |                             |        |
|-----------------------------|--------|
| ①. 五所川原市ボランティア・市民活動センター運営事業 | ・・p.9  |
| ②. ボランティア養成講座実施事業           | ・・p.10 |

### 第2 災害に強いまちづくり

- |                          |        |
|--------------------------|--------|
| ①. 五所川原市災害ボランティアネットワーク事業 | ・・p.10 |
| ②. 福祉避難所の受け入れ態勢整備事業      | ・・p.10 |

### 第3 福祉意識の醸成

- |                    |        |
|--------------------|--------|
| ①. 第64回五所川原市社会福祉大会 | ・・p.11 |
| ②. ふくし出前講座実施事業     | ・・p.11 |

自分らしく暮らせる福祉の『環境づくり』の促進

### 第1 権利擁護の充実

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| ①. 権利擁護センターごしょがわら運営事業 | ・・p.11 |
|-----------------------|--------|

### 第2 当事者の社会参加の促進

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| ①. 五所川原市愛の輪レクリエーション大会 | ・・p.13 |
|-----------------------|--------|

## ②. ケア付き立佞武多実施事業

・・p.13

ニーズを受け止め対応できる『仕組みづくり』の充実

### 第1 地域生活を支える福祉サービスの充実

#### ①. 介護福祉事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

・・p.13

#### ②. 支え合い支援事業（保険適用外介護事業）

・・p.15

#### ③. 障害者総合支援事業

・・p.15

#### ④. 放課後児童健全育成事業

・・p.18

### 第2 安心を支援しよりそな事業の推進

#### ①. 生活福祉資金貸付事業

・・p.18

#### ②. 五所川原市たすけあい資金貸付事業

・・p.18

#### ③. 緊急通報システム「福祉安心電話サービス事業」

・・p.18

#### ④. 電話訪問サービス「お元気ですかコール事業」

・・p.19

#### ⑤. 福祉用具貸与事業

・・p.20

#### ⑥. 福祉移送サービス事業（一般乗用旅客自動車運送事業）

・・p.20

#### ⑦. 歳末たすけあい事業

・・p.20

### 第3 身近で相談できる体制づくり

#### ①. 心配ごと相談所運営事業

・・p.22

#### ②. 在宅介護支援センター運営事業

・・p.22

#### ③. 行政及び専門機関との連携

・・p.23

#### ④. 地域住民からの意見、提案、課題等収集

・・p.23

### 第4 新たな課題に対応する取り組み

#### ①. 社会貢献活動推進事業（あおもりしあわせネットワーク事業）

・・p.23

#### ②. フードバンクシステム活用事業

・・p.24

#### ③. 五所川原こども宅食おすそわけ便事業

・・p.24

## 地域福祉活動を支える『基盤づくり』の強化

### 第1 広報・啓発活動の充実

①. 広報紙「社協ごしょがわら」、「声の社協」発行事業 · · p.25

②. ホームページ運営事業 · · p.25

### 第2 組織体制の強化

①. 法人（会務）の適正な運営 · · p.25

②. 各部署定例会議の開催、職員の資質向上 · · p.29

③. 地区社協や各種団体・関係機関との連携・協働 · · p.29

### 第3 財政基盤の確保・強化

①. 会員会費制度の周知と拡大 · · p.30

②. 赤い羽根共同募金等の促進 · · p.38

③. 有料広告の利用促進 · · p.38

④. 各種助成等の状況 · · p.38

### 第4 指定管理者制度の取り組み

①. 五所川原市養護老人ホームくるみ園管理運営 · · p.39

②. 五所川原市地域福祉センター管理運営 · · p.40

③. 金木中央老人福祉センター管理運営 · · p.41

④. 生活支援ハウス管理運営 · · p.41

令和4年度 五所川原市社会福祉協議会 各種事業及び庶務報告 · · p.42



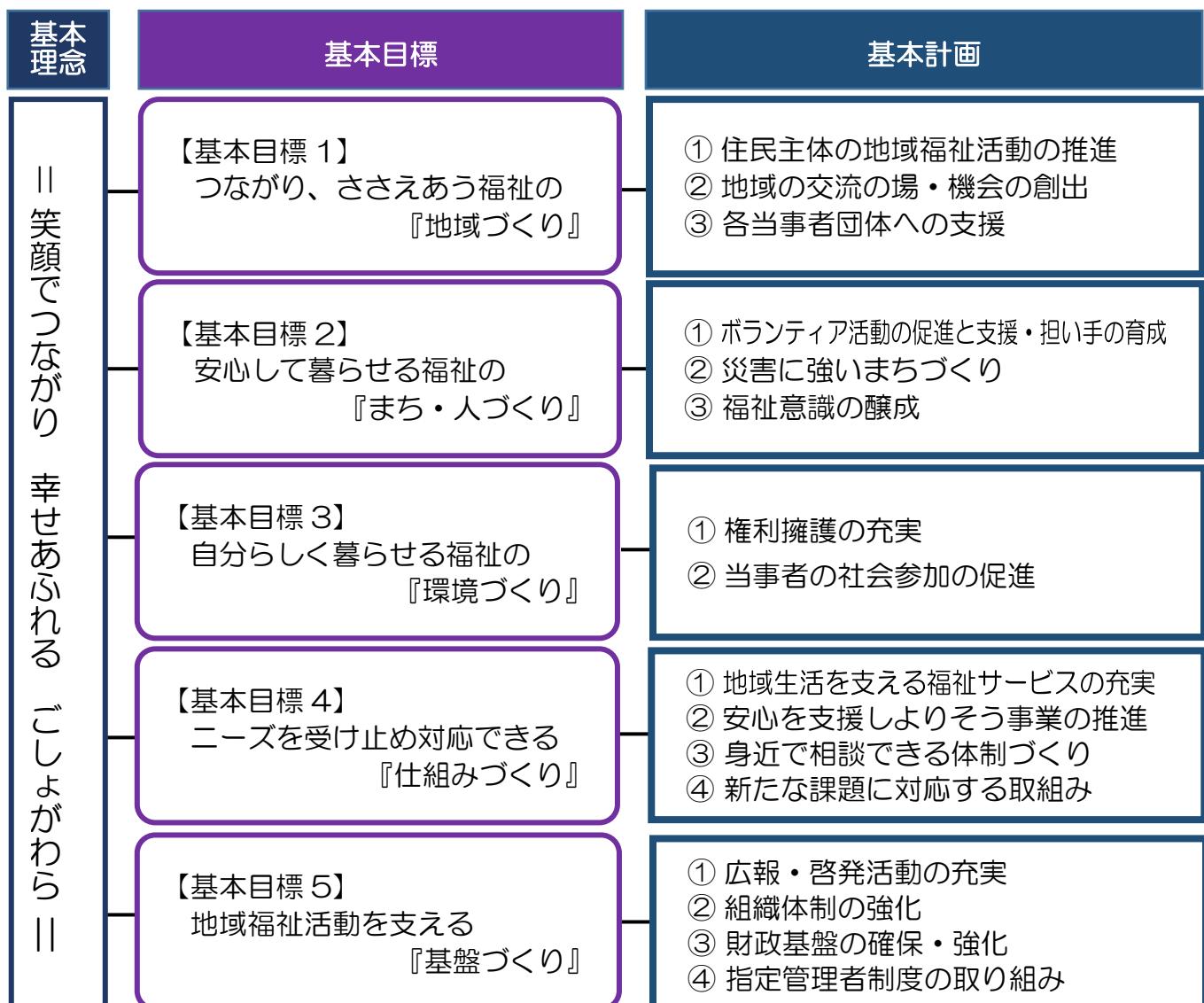
五所川原市社会福祉協議会は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる「笑顔でつながり 幸せあふれる ごしょがわら」を基本理念に活動を展開してまいりました。

当年度重点目標に掲げた「新たな課題への対応強化」「権利擁護制度の充実」「適切な生活支援サービス事業の推進及び運営」「組織体制及び財政基盤の強化」においては、市内の社会福祉法人や民生委員・児童委員、一般企業や地域住民との連携を強化し、様々な社会資源を活用しながら必要な支援、権利擁護サービス等を提供しました。

また、地域との交流が低迷する中でのコロナ発生がさらに人との交流を減らし、新たな生活課題が表面化する一方、外からの見えにくさも増大していました。孤立や困窮の一因ともなるこの状況に対処するため、さり気なく見守る意識と機会（町内会の見守り、こども宅食おおすそわけ便等）を継続実施、障がいや介護の有無にかかわらず、自立と社会参加を支える活動を実施してきました。

また、大雨被害からの復旧支援協力が得られた成果が、平常時連携の機運を高め、福祉活動の基礎作りに活かす動きができました。

## 第2次五所川原市地域福祉活動計画【ささえあいプラン】体系図



# 【令和4年度 事業実施報告】

## つながり、ささえあう福祉の『地域づくり』

### 第1 住民主体の地域福祉活動の推進

#### ①. 地域見守り支え合い事業 実施状況

住民主体の見守り活動推進のため、訪問活動や緊急連絡網の整備、見守り会議の開催など要援護者の早期発見と対応につなげる取り組みや、地域を拠点としたネットワークづくり、住民の福祉意識向上を図る見守り活動促進等を主体とした以下の事業を実施。

##### ア. ふれあいほっとサロン事業

高齢者の閉じこもり防止や地域で見守る体制作りを目的に、身近な集会所等を活用した交流・仲間づくり活動（地域サロン運営）の展開。

##### イ. 除排雪たすけあい事業

日常の見守り活動への関心を高めるとともに、冬の間、安心して暮らせる地域づくりを目的に除排雪が困難な高齢者世帯等に対し、住民相互のたすけあい活動を実施。

##### ウ. ふれあい交流会開催事業

住民相互の世代間交流と地域の連携強化を図るため、子どもから高齢者まで地域の誰もが参加できる交流会等の開催。（夏祭り、健康体操、bingoゲーム、クリスマス会等）

##### エ. その他の福祉活動事業

誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、様々な生活課題に対して住民自らが解決・改善する、先駆的な活動を展開。（町内会清掃活動、草刈り、ゴミ出し支援等）

#### 【事業実施町内会】

	団体名	ア	イ	ウ	エ		団体名	ア	イ	ウ	エ
1	みなみ広田町内会	○		○			15 藻川自治会	○	○	○	○
2	朝日町1区町内会		○				16 芦野町町内会		○	○	○
3	若葉第一町内会			○			17 松島町2・3丁目町内会	○			○
4	寺町振興会	○	○				18 南新町内会				○
5	吹畠町内会	○					19 末広町町内会	○	○	○	○
6	小曲町内会			○			20 みどり町7丁目町内会	○	○		
7	宮田町内会	○					21 みどり町8丁目町内会	○	○	○	○
8	梅田町内会			○			22 山道町内会				○
9	七ツ館町内会						23 尻無町内会				
10	浅井町内会	○	○	○			24 沢部町内会	○	○	○	
11	広田町内会	○		○	○		25 磯松町内会		○	○	
12	東町町内会						26 坂の上町内会		○	○	○
13	下平井町町内会	○					27 稲実団地町内会				○
14	東松島町内会			○			28 若松町内会	○		○	
							計	11	13	18	8

【町内会等助成事業】町内会単位において、住民が主体的に実施する見守りや支え合い活動の展開に要する経費について助成金を交付し、推進に関わる活動強化への助言や育成、実施

に関わる支援等を実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点からふれあい交流会を中心とした町内会があり、感染症対策・対応に苦慮している相談が寄せられた。

※ 世帯数や内容に応じ、28 町内会（昨年より 3 町内会増）へ総額 1,363,200 円を助成  
(共同募金配分金活用)

※ 当年度事業の中止等による返還金 45,762 円。

## ②. 地域における共助の基盤づくり事業 実施状況

「地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業」（国庫・市補助事業）受託による、地域における見守り活動推進のため、住民が主体的に実施する見守りや支え合い活動の強化育成及び支援等を目的として実施。

### 1) 見守りネットワーク推進事業

民生委員・児童委員、地区社協、町内会や関係機関等と連携しながら情報共有を図り、近隣での見守り強化、異常を発見した際の連絡体制の構築に繋げた。各地区代表者を召集した全体会議「地区社協連絡会」を開催し、活動が効果的に行えるように、相互の情報交換や課題解決・協議を実施した。

### 2) 見守り活動にかかる普及・啓発事業

各地区において、見守り活動の説明や重要性、地域の課題についての意見交換や協議を促し、パンフレットを用い住民による見守り意識の高揚に向けた活動の支援を実施。

### 3) ボランティア活動促進事業

ボランティア活動の促進を目的とした、協力員等への保険加入に要する費用を助成。

## ③. 五所川原市社会福祉法人等連絡協議会運営事業 実施状況

多様な担い手確保対策の一環として、市内社会福祉法人等の地域連携体制を構築し、法人等の協働による社会貢献活動を目的に令和 2 年度に組織。事業として「五所川原こども宅食おすそわけ便」を年 6 回実施した。

## 第 2 地域の交流の場・機会の創出

### ①. 生活支援体制整備事業

日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続するため、支援ニーズとサービスのコーディネートを行い、生活支援等サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進することを目的として実施。

#### 1) 生活支援・介護予防サービスのコーディネート等に関する業務

町内会などで開催するサロン等に出席し、サロンの様子や参加者の生活の様子を伺い、ニーズの把握を実施。また、月1回生活支援コーディネーター情報交換会を行い、ニーズに対応する資源の創出を工夫協議した。

また、各町内会や地域から除雪やゴミ出し、困りごとについて情報収集を行い、今後の支援体制に向けた検討を行った。

## 2) サービス、支援の担い手となるボランティア等の養成に関する業務

予定していたボランティア養成講座は感染症拡大防止から延期とし、ボランティアの種類や身近にできるボランティア等について理解を深め、資質向上を図った。

## 3) 社会福祉法人、地区社会福祉協議会、NPO法人、ボランティア団体、老人クラブ等、多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働に関する業務を推進。生活支援コーディネーター通信「こもれび通信」を発行、毎戸配布し事業周知を行った。

### ②. ふれあいいきいきサロン 実施状況

地域の高齢者や子育て世代等が元気にいきいきと暮らすことができるよう、身近な集会所等を利用して、生きがいや仲間づくりの輪を広げる活動の助成・支援を実施。(共同募金配分金活用)

実施団体	開催回数等
若葉いきいきサロン	9回開催(延べ148人)
ザ・田町栄町元気教室	10回開催(延べ179人)
上中柏木なかよし会サロン	7回開催(延べ48人)
Family café あづま～る	8回開催(延べ716人)
なんでもかだるべしほら	8回開催(延べ198人)
憩いの広場ここまる	3回開催(延べ150人)
計	45回(延べ1,439人)

### ③. ひとり暮らし高齢者のつどい実施事業

地域や近隣の見守り機能を高め、一人暮らし高齢者等が安心して豊かに暮らせる環境作りのため、各地区社会福祉協議会等を主体とした住民活動を推進。今年度の集い実施に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から各地区と協議の結果、地域及び開催時期の感染状況と万全な予防対策を講ずることが困難との判断から、全地区において事業実施を中止とした。

## 第3 各当事者団体への支援

### ①. 各当事者福祉団体への支援（事務委託事業）実施状況

## 1) 五所川原市ボランティア連絡協議会

加入団体が連携協力及び情報交換等各団体の充実等を目的とし、ボランティア活動への参加促進と地域福祉向上のための事務運営を援助した。

- |                         |                               |
|-------------------------|-------------------------------|
| ① NPO 法人ごしょがわら恵鈴会       | ② 楽しく生きがい作り いきいきプラザ           |
| ③ NPO 法人子どもネットワーク・すべてっぷ | ④ P A P A H U G (パパハグ)        |
| ⑤ NPO 法人ほほえみの会          | ⑥ 五所川原手話サークルひまわり              |
| ⑦ お昼を食べる会               | ⑧ 若葉いきいきサロン                   |
| ⑩ チョボラの会                | ⑪ 個人加入：2名 《加入団体（個人）：10団体、2個人》 |

## 2) 五所川原市共同募金委員会

赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい運動を支援し、本会及び民間社会福祉団体の事業充実・発展の活動資金募集の啓発を図り、地域住民の理解・協力体制づくり活動を推進した。

【赤い羽根共同募金運動】赤い羽根共同募金運動は、社会の変化の中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する「じぶんの町を良くするしぐみ」として、全国的に取り組まれる活動であり、自らが参加する地域づくりを促進し、福祉社会実現のための多様な活動を支援する役割を果たすための活動を推進した。昨年度に続き、好評だった五所川原市PRキャラクター「ごしょりん」と赤い羽根をデザインした令和4年度版オリジナルピンバッジを製作し広く協力を呼びかけ、協力を得られた。

【歳末たすけあい運動】歳末たすけあい運動は、歳末時期において地域住民やボランティア、各種福祉関係者等の協力のもと、年末年始の支援を必要とする方々へ、地域の実情に応じた様々な福祉活動を重点的に展開することができた。

【募金実績/地区扱い募金】			
地区別	戸別募金	大口募金	歳末たすけあい募金
第一地区	¥695,500	¥165,000	¥249,730
中央地区	¥1,149,750	¥150,000	¥240,900
栄地区	¥760,118	¥173,000	¥163,740
梅沢地区	¥133,500	¥30,000	¥30,000
七和地区	¥334,800	¥5,000	¥55,800
長橋地区	¥182,700	¥65,000	¥42,600
松島地区	¥690,300	¥111,000	¥115,000
飯詰地区	¥264,800	¥35,000	¥44,100
毘沙門長富地区	¥148,800		¥24,800
中川地区	¥88,800		¥29,600
三好地区	¥241,200	¥5,000	¥40,400
田川町内会	¥33,000		¥5,500
金木地区	¥689,570	¥63,000	¥187,270
市浦地区	¥311,000	¥27,000	¥50,500
その他			¥3,950
合計	¥5,723,838	¥829,000	¥1,283,890

【募金実績／その他の募金】			
街頭募金	¥ 19,241	10月初旬、エルムの街や金木タウンセンターを拠点に街頭での募金協力を呼びかけ	
職域募金	¥ 112,631	一般企業、県民局を含む行政等の各種団体及び個人からの募金	
学校募金	¥ 131,336	市内の小・中・高等学校からの募金	
その他	¥ 260,137	「ごしょりん」ピンバッジ等	
計	¥ 523,345		

#### 【令和4年度配分金を活用した各事業】

- ① 「社協ごしょがわら」広報啓発事業
- ② 地域見守り支え合い事業（町内会助成）
- ③ 五所川原市社会福祉大会
- ④ 福祉体験学習
- ⑤ ケア付き立佞武多「夢かなえ隊」
- ⑥ 地区社協運営推進事業

#### 【令和4年度災害見舞金支給状況】

青森県共同募金会災害見舞金等支給規程に基づき、被災住民に見舞金を支給。

- ・ 住宅全焼見舞金等 70,000円（9件）

#### 3) 五所川原市身体障害者福祉会 運営状況

五所川原市に居住する身体障がい者が自ら進んでその障がいを克服し、より一層福祉推

進を図るため、相互友愛の精神に基づいて社会経済活動に参加するとともに、会員相互の親睦と密接な組織活動を促進し、社会福祉向上に貢献することを目的にする事務運営を援助した。

【活動実績】 ○役員会 2回、総会 1回

○レクリエーション（写真講座）を 7 回

○西北五つかる身障福祉懇談会の参加

○会員研修会（深浦町）

（会員 19 名）

4) 西北五手をつなぐ育成会 運営状況

五所川原市に居住する知的障がい者の相互扶助の理念に基づき、生活の確立と向上、親睦交流、育成と福祉の推進を図ることを目的にする事務運営を援助した。

五所川原市主催の「地域の障害福祉関係団体及び事業者の広報イベント」において、障害を持つ方の作品を展示。同日の「障害福祉サービス説明会」にも出席した。

（会員 14 名）

5) 五所川原市母子寡婦福祉会 運営状況

五所川原市に居住する母子寡婦の福祉のため、相互扶助の理念に基づき、生活の確立と向上、親睦交流を図ることを目的にする、事務運営を援助した。

会員が制作した輪つなぎを養護老人ホームくるみ園へ寄贈、会員へのおすそわけ活動、若年会員 5 名への卒業祝金配布、今年度は進級祝いとして 4 名に図書カードを配布した。

今年度は転居・死去等の理由により 6 名が退会、若年母子 1 世帯が新規加入した。

（会員総数 26 名：内親会員 19 名、若年会員 7 名）

6) 五所川原市老人クラブ連合会 運営状況

老人クラブ普及発展を図るとともに、広く老人の親睦と福祉の増進に資することを目的にする事務運営を援助した。正副会長会議及び役員会を 6 回開催し事業推進の協議を図った。

前年度までコロナ禍により中止となっていた「スポーツ大会」をレクリエーション色を加味した「いきいき運動会」として開催し 10 単位クラブ約 70 名が参加、「芸能大会」では、舞踊、コーラス等を披露し 125 名が参加した。

研修会では、講話の「お茶飲み会活動」や「健康づくりのポイント」、「交通事故に合はない外出のすすめ」等を学んだ。

また、「芸能部」「コーラス部」「ゲートボール部」「グラウンドゴルフ部」は、年間を通じて自主活動した。

## ②. 小規模地域ネットワーク・福祉団体活動費助成事業（地区社協活動費）

地域の福祉ニーズに即した細かな事業活動の展開にあたり、地区社協及び住民参加によつて活動する福祉団体等に対して助成金等を交付し、地域福祉の向上を推進した。

### 【地区社会福祉協議会助成額（活動費と育成額の合計】

地区社協	金額（円）	地区社協	金額（円）
第一地区	325,160	長橋地区	123,520
中央地区	494,060	松島地区	246,460
栄地区	291,600	飯詰地区	124,280
梅沢地区	78,060	中川地区	88,280
七和地区	140,440	三好地区	107,720
毘沙門長富地区	74,640	計	2,094,220

### 【福祉団体助成金額】

団体名	金額（円）	団体名	金額（円）
市身体障害者福祉会	35,000	五所川原手話サークルひまわり	10,000
市母子寡婦福祉会	25,000	五所川原点訳朗読奉仕会	10,000
市民生委員児童委員連絡協議会	25,000	五所川原地区保護司会	10,000
五所川原地区更生保護女性会	10,000	西北五視力障害者福祉会	15,000
		計 8 団体	140,000

### 【つがる西北五社会福祉協議会職員連絡会助成金】

つがる西北五地区の 6 市町社協が相互の情報交換や各種研修を行い、圏域の地域福祉活動充実を目的に、15,000 円を助成。職員連絡会では、つがる西北五社会福祉協議会事務局長連絡会との協議を経て、広域的な協働事業の展開、管内社協相互間研鑽を実施した。

- ① 職員連絡会幹事会 7月 21 日 森田保健福祉センター「あーすとぴあ」
- ② 職員連絡会幹事会 1月 30 日 森田保健福祉センター「あーすとぴあ」 & ZOOM
- ③ 職員連絡会会員研修 3月 23 日 つがる市社協 & ZOOM

## 安心して暮らせる福祉の『まち・人づくり』

### 第1 ボランティア活動の促進と支援、担い手の育成

#### ①. 五所川原市ボランティア・市民活動センター運営事業

ボランティア活動振興を目的に、相談や支援の充実、情報提供及び関係団体との連携のもと、幅広い年代に、市民の福祉意識の高揚とボランティア活動への積極的な参加を促した。また、市内のボランティア団体・市民団体の活動内容等を記載したガイドブック（冊子）を作成し、市民へ広く情報を提供。ボランティア活動の理解と啓発を推進し、希望者への配布を実施した。

##### 1) ボランティア活動の支援・調整・普及

- ① こども宅食おすそわけ便 内容：食材配達、会場設営・運営 回数：6回
- ② 出張サンタクロース 内容：プレゼント受け渡し補助や見守り 回数：1回
- ③ 株式会社 アンフィニ 内容：児童クラブでのレクリエーション 回数：1回
- ④ 声の社協 内容：広報「社協ごしょがわら」の朗読 回数：6回

##### 2) ボランティア保険の加入促進

- ・ボランティア活動保険 36団体 600名
- ・行事用保険 30団体 1,123名
- ・ボランティア総合補償 4団体 40名
- ・加入者総計 70団体 1,763名

##### 3) 収集ボランティア事業（アルミ缶・プルタブ回収）

日付	重量		換金額	日付	重量		換金額
5月11日	223	kg	¥ 5,765	12月6日	141	kg	¥ 3,635
7月29日	69	kg	¥ 1,880	12月22日	371	kg	¥ 9,275
9月15日	84	kg	¥ 2,265	2月9日	117	kg	¥ 3,110
10月26日	68	kg	¥ 1,885			kg	
11月28日	14	kg	¥ 420			kg	
				計	1,087	kg	¥ 28,235

##### 4) 収集ボランティア事業（エコキャップ回収）

本会に寄せられ回収したキャップは、運搬輸送協力企業の協力を経て換金し「特定非営利活動法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」に送金した。そのお金 13,443円（1,344 kg）は、ユニセフと連携し、開発途上国の子どもたち、おおよそ 672 人分のワクチン：1 人分は約 ¥20（小児まひ、はしか、おたふくかぜ、結核、破傷風など）に使用された。

##### 5) イベント用備品・物品の貸し出し

各種団体等の活動促進を目的に、行事やイベントで活用する本会が所有する備品・物品を貸し出した。

- ・延べ貸出団体・件数 10 件 : 計 14 点の機材貸出
- 《主な貸出物品》・着ぐるみ・サンタ衣装 ・わたあめ機 ・プロジェクター 等

## ②. ボランティア養成講座

地域住民がボランティア活動や福祉教育に携わることで、地域とのつながりや共助の考え、子ども達への関わりや関心を高めることを目的にボランティア養成講座の開催を検討したが、実施時期の感染症における感染状況から拡大防止のため中止とした。

## 第2 災害に強いまちづくり

### ①. 五所川原市災害ボランティアネットワークの構築 実施状況

「災害時におけるボランティア活動に関する協定」を締結(平成25年11月25日付)しており、災害時における効果的なボランティア活動実践のため、平時から各団体等とのネットワークを構築。予定としていた市及び県の防災訓練における想定訓練は、感染症拡大防止のため中止となつた。

### ②. 【福祉避難所の受け入れ態勢整備事業

「福祉避難所の確保に関する協定」の締結（平成25年9月25日付）により、災害時には要請により「福祉避難所」として、特別な配慮を要する援護者を下記の施設（指定管理施設）において受け入れを行う体制整備を継続して実施した。

- ① 五所川原市養護老人ホームくるみ園 ② 五所川原市地域福祉センター
- ③ 金木中央老人福祉センター ④ 金木生活支援ハウス ⑤ 市浦生活支援ハウス

#### 【災害ボランティアセンターの開設】

令和4年8月豪雨により、8月13日、五所川原市から災害ボランティアセンターの設置要請があり、8月14日に開設。被害の大きかった地区を中心に、住民ニーズの調査、ボランティアの受け入れ、活動調整等を9月30日の閉鎖まで行った。

- ・ニーズ調査/延べ94件
- ・ボランティアの受け入れ/延べ75人
- ・支援実施/延べ14件

#### 【福祉避難所】

令和4年8月豪雨により、市内各所で避難所が開設されたが、避難所生活が困難な住民受け入れのため、五所川原市から福祉避難所の開設要請があった。

本会では、金木生活支援ハウス及び、養護老人ホームくるみ園で開設し、避難者の支援に努めた。

- ・金木生活支援ハウス 避難者9名（8月10日～8月18日 9日間開設）
- ・養護老人ホームくるみ園 避難者6名（8月11日～8月17日 7日間開設）

## 第3 福祉意識の醸成

### ①. 第65回五所川原市社会福祉大会の開催

令和4年10月22日（土）ふるさと交流圏民センター「オルテンシア」において、新型コロナウイルス感染症拡大防止の万全な対策を講じ開催。「健康。笑顔。元気。みんなの宝物。」と題した佐藤弘道氏の講演では、健康の大切さを学びながら講師と一緒に簡単な運動を実践し、元気な生活を営む知識を得た。その後、社会福祉活動等に功績のあった方々の表彰等を行い、感謝の意を表すると共に、市民の福祉意識の高揚を図る式典を開催し、約500名の方々にご来場頂き、盛会に終了した。

《表彰内訳》 ・表彰の部：29個人 ・感謝の部：36団体、3個人

## ②. ふくし出前講座、地域向け出前講座の開催

市内の各学校からの依頼に応じ、児童・生徒の社会福祉に対する福祉教育を目的に、福祉教育サポーターの協力のもと、福祉への関心や理解を深める福祉体験学習を実施。町内会や各種団体からの依頼による、講座の支援・調整及び講師斡旋、職員の派遣等を行い、福祉の情報提供や社協活動への理解を深めた。

	開催日	学校名	参加人数	内容
ふくし出前講座	6月29日	五所川原小学校	55	福祉ってなんだろう
	9月6日	松島小学校	18	福祉ってなんだろう
	10月7日	中央小学校	65	高齢者疑似体験・点字体験
	10月11日	松島小学校	18	高齢者疑似体験
	10月13日	栄小学校	69	高齢者疑似体験、車いす体験
	11月4日	松島小学校	18	車いす体験
	11月14日	栄小学校	69	手話ってなあに、点字体験
地域向け	5月23日	はなや嘉	20	介護予防サロン（脳トレ等レク）
	7月23日	沢部町内会	15	介護予防サロン（脳トレ等レク）
	11月18日	烏森町内会	14	介護予防サロン（脳トレ等レク）

## 自分らしく暮らせる福祉の『環境づくり』

### 第1 権利擁護の充実

#### ①. 権利擁護センターごしょがわら運営事業 実施状況

地域において判断能力に不安があり支援を要する方の権利擁護に関し、関係機関・関係者がネットワークを構築し、本会が実施する権利擁護事業の適正化や地域住民の権利を護るために方法、制度活用等の支援体制を構築。成年後見支援センターごしょがわらと連携し、成年後見制度利用促進委員会の検討・専門的判断会議において、要検討案件19ケースについて対象者の権利擁護支援を検討。市民のための権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築と専門性・複雑性が増してきている案件への方針打ち出しありは今後も重要となる。

##### 1) 日常生活自立支援事業 実施状況

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象に、日常生活における福祉サービスに関する情報提供や利用するための援助、それに付随した日常的金銭管理等の支援を行い、家族や関係機関との連絡調整を図りながら、利用者支援を実施。生活支援員が、日々の相談対応・支援活動を行い、安心した日常生活を支援した。

#### 【管内市町別利用相談・問合せ及び支援内容相談件数】

市町村名	相談援助件数（本事業の利用に関するもの）				合 計
	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	不明・その他	
①五所川原市	486	45	263	44	838
②中泊町	111	0	0	8	119
③鶴田町	27	57	46	3	133
相談援助件数	624	102	309	55	1090

#### 【会議・研修・管内巡回指導実施状況】

- 1. 情報交換会： 支援活動における生活支援員との打合せ等 12回
- 2. 県社協主催研修会： 専門員・生活支援員研修会 1回
- 3. 県社協主催会議： 基幹的社協連絡会議 2回
- 4. 鶴田町主催会議： 個別ケア会議 1回

#### 【契約締結状況】

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	不明・その他	計
実利用者数	60	6	22	4	92
五所川原市	54	5	21	4	84
中泊町	4	0	0	0	4
鶴田町	2	1	1	0	4
年度契約件数	11	1	1	1	14
			(内、生保世帯数)		(7)
終了件数	22	0	1	1	24

#### 2) 成年後見事業 実施状況

成年後見制度による成年後見人等の選任が必要と判断された方に対し、その受任体制を確立。制度活用のための相談受付及び家庭裁判所の成年後見人選任審判に基づく、成年後見人等を法人として受任し、被後見人等の財産管理や身上監護等による権利擁護支援を実施した。後見支援員6名の委嘱を継続し、受任要請の増加に対応できる体制を構築した。

- 令和4年度未受任件数 15件 (内、後見類型：9件 保佐類型：6件)
- 令和4年度報酬付与申立て 19件 (内、成年後見制度利用支援事業申請：2件)

#### 3) 財産安心サポート事業 実施状況

高齢者や障がい者が保有する財産に関し、利用者と本会との契約により、その適正な保全確保を目的とし事業を展開。財産を貸金庫で保管を行う「財産保全サービス」及び契約者逝去後の事務処理を行う「死後事務委任契約」の業務を実施した。

- 財産保全サービス ・新規契約数：0件 ・年度未利用者数：0名
- 死後事務委任契約 ・新規契約数：0件 ・履行件数：3件 ・年度未契約者数：5名

## 第2 当事者の社会参加促進

### ①.五所川原市愛の輪レクリエーション大会 実施状況

障がいをお持ちの方々と地域住民やボランティアが一堂に集い、レクリエーションを通じた交流活動であり、9月17日に、参加者及び施設職員74名、関係団体11名、住民参加者5名、ボランティア18名が交流した。

### ②.ケア付き立佞武多（夢かなえ隊） 実施状況

地域を代表する祭り五所川原立佞武多に、誰もが参加出来るよう「参加したい」と願う在宅の障がい者等の希望実現を計画。小規模ではあったものの、参加者（2名）やボランティア（8名）は満足感いっぱいであったとともに、広く障がい者への理解を深めた。

## ニーズを受け止め対応できる『仕組みづくり』

## 第1 地域生活を支える福祉サービスの充実

### ①.介護福祉事業（介護予防・日常生活支援総合事業含む）実施状況

介護保険法における介護サービス提供事業として、本会の特性・特色を活かした関係事業を推進。次に掲げる各事業において介護サービスを提供した。

#### 1) 居宅介護支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業含む）

高齢者がその身体状態が要支援及び要介護認定を受けた場合において、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことが出来るよう、心身状況、環境、利用者や家族の希望等を考慮し、介護支援計画の作成に努めるとともに、その他の介護に関する専門的な相談へ対応を行った。また、保険者からの受託事業として、介護支援専門員による被保険者の要介護認定調査業務等を履行した。

【居宅介護支援事業利用者及び要介護認定調査件数】 ※（内、予防）は、介護予防利用人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本所	利用者人数	110	106	117	117	119	107	106	100	109	112	108	109	
	(内・予防)	20	20	20	21	20	20	20	21	24	24	23	23	
	認定調査	7件	6件	4件	6件	2件	5件	7件	5件	4件	6件	4件	6件	62件
金木	利用者人数	123	121	108	106	106	115	116	118	118	111	113	116	
	(内・予防)	25	24	26	25	25	24	24	23	23	22	22	20	
	認定調査	7件	6件	4件	3件	0件	3件	3件	5件	4件	4件	4件	4件	47件
市浦	利用者人数	58	59	64	64	62	71	62	59	53	53	52	52	
	(内・予防)	12	14	15	15	16	16	14	16	13	13	12	12	
	認定調査	4件	2件	0件	2件	1件	3件	2件	0件	0件	0件	3件	0件	17件

## 2) 訪問介護事業（日常生活支援総合事業含む）

指定訪問介護事業の適正な運営を確保し、訪問介護員が要介護・要支援又は事業対象の高齢者等に対し、入浴・排泄・食事等の介護、及び調理・洗濯・掃除等の家事、その他必要な生活上の援助を提供し、利用者が地域で安心した生活を維持できるよう支援を行った。

【訪問介護事業利用者推移及び実績】 ※介護保険、総合事業は、各制度別の利用人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本所	介護保険	30	29	32	31	29	32	31	33	29	34	37	37	
	訪問回数	368	365	378	366	400	396	335	349	310	327	321	346	4,261
	総合事業	24	23	25	24	23	23	24	24	27	27	24	26	
	利用回数	146	154	163	156	156	153	145	146	158	145	132	167	1,821
金木支所	介護保険	39	40	38	43	41	42	46	47	42	42	40	41	
	訪問回数	171	182	184	208	207	209	212	237	234	227	204	215	2,490
	総合事業	19	20	21	23	22	21	19	18	17	17	16	15	
	利用回数	100	122	121	129	115	128	113	110	105	103	99	101	1,346

## 4) 通所介護事業（日常生活支援総合事業含む）

指定通所介護事業の適正な運営を確保し、看護職員及び介護職員等が要介護・要支援状態にある高齢者等に対し、送迎や入浴・排泄・食事等の介護、生活等に関する相談助言、健康状態の確認など必要な日常生活上の支援や機能訓練等の適正なサービスを提供した。

【通所介護事業利用者推移及び実績】 ※介護保険、総合事業は、各制度別の利用人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五所川原	介護保険	42	41	41	41	43	44	44	44	45	46	46	47	
	提供回数	435	418	400	315	437	437	461	443	442	404	390	467	5,049
	総合事業	38	39	39	35	34	34	32	33	31	30	29	29	
	提供回数	216	215	208	158	162	193	173	180	175	140	150	169	2,139
金木支所	介護保険	61	62	61	62	63	62	64	66	63	58	61	59	
	提供回数	491	504	514	512	499	530	545	544	492	424	439	509	6,003
	総合事業	37	34	37	39	40	41	38	37	38	35	31	30	
	提供回数	236	220	220	231	247	251	207	216	213	190	176	189	2,596
市浦支所	介護保険	31	32	35	34	32	31	31	31	29	27	28	29	
	提供回数	283	306	314	289	272	301	298	285	255	221	222	274	3,320
	総合事業	19	20	20	20	21	20	19	18	17	16	16	15	
	提供回数	103	111	109	104	94	107	86	90	94	77	74	79	1,128

## 5) 高齢者生きがい活動支援通所事業 実施状況

前記の通所介護事業に並行し、高齢者の自立を助長する介護予防を目的とした、軽スポーツや趣味活動を取り入れたプログラムによる豊かな生活のための支援を実施した。

#### 【高齢者生きがい活動支援通所事業利用者推移及び実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五 所 川 原	利用者人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	提供回数	4	5	4	3	5	3	5	4	4	4	4	4	49回
金 木	利用者人数	7	7	7	7	7	5	5	5	5	5	6	5	
	提供回数	27	27	24	27	26	20	20	22	16	19	20	19	267回
市 浦	利用者人数	3	4	1	2	1	1	1	1	2	2	1	3	
	提供回数	15	10	4	5	4	4	4	5	5	5	4	8	73回

#### ②. 支え合い支援事業（保険適用外介護事業）実施状況

日常生活に支援を要する利用者の、制度では適用できない介護サービス及び障害福祉サービスなどに対するニーズ充足のため、制度外での支援提供体制を整え、柔軟な対応による安心した生活が維持できるよう支援を行った。利用は居宅サービス計画及び障害者支援計画において、制度外サービスとして適正な位置づけによるものとした。

本 所	利用者人数	2	2	3	3	3	4	4	4	2	2	3	3	
	提供回数	27	31	27	28	31	9	6	7	4	5	5	6	186回
金 木	利用者人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	提供回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0回
市 浦	利用者人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	提供回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0回

#### ③. 障害者総合支援事業 実施状況

障がいの有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重し、安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指し、障がいがある方の日常生活と社会生活を総合的に支援するという趣旨の下、障害者総合支援施策において、障がい者の生活全般にわたる支援を目的に必要とする次の事業を展開した。

##### 1) 計画相談支援事業・基本相談支援事業

計画相談支援事業において障がい者の利用する障害福祉サービスの内容等を、心身の状況及び環境、利用者や家族の希望等を考慮し「サービス等利用計画書」を作成及び支援。サービス利用開始後においても、一定期間ごと利用状況が適切であるかを検証し、必要に応じた計画変更手続き等を適切に履行。また、基本相談支援事業において、一般

相談窓口において障がい者からの相談の受付体制を整備し、必要な対応もしくは情報提供や助言・社会資源利用の調整等を実施した。

#### 【計画相談支援利用件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1) 計画相談支援	6回	4回	6回	2回	4回	5回	5回	6回	4回	4回	6回	4回	56回

#### 2) 居宅介護・重度訪問介護事業

指定居宅介護事業所として「障害者総合支援法」に規定する適正な運営を確保し、事業所従事者が居宅支給決定を受けた利用者（児童福祉法にあっては障害児）に対して、入浴・排泄・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話をを行う適正なサービスを提供した。

#### 【居宅介護・重度訪問介護事業利用者推移及び実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五 所 川 原	利用者人数	23	24	25	23	23	22	21	25	25	25	25	27	
	提供回数	171	172	180	180	180	171	176	183	183	168	169	210	2143回
金 木	利用者人数	7	8	8	7	4	9	6	7	6	8	5	6	
	提供回数	37	32	33	22	23	34	14	27	13	14	11	16	276回

#### 3) 同行援護事業

視覚障がいにより移動に著しい困難を有する障がい者等に対して、外出時における同行・移動の援護、排泄及び食事の介護、代読代筆等、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話をを行うことで、外出する際の適正なサービスを提供した。

#### 【同行援護事業利用者推移及び実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者人数		7	8	8	9	8	8	9	8	8	8	9	8	
提供回数		41	34	34	41	39	37	40	36	36	32	40	39	449回

#### 4) 障害者デイサービス事業

在宅障がい者の自立・身体機能の維持向上を図り、社会参加の促進等を目的とし、送迎・入浴・排泄・食事等の介護、生活等に関する相談・助言、健康状態の確認、その他必要な日常生活上の世話や機能訓練、利用者が楽しく過ごせるプログラムを提供。

#### 【障害者デイサービス事業利用者推移及び実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五所川原	利用者人数	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	提供回数	3	12	14	14	17	24	27	27	27	26	24	28	243回
金木	利用者人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	提供回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0回
市浦	利用者人数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	提供回数	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11回

## 5) 障害者移動支援事業

屋外移動が困難な重度障がい者に対し、外出時における移動の支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加の促進を提供した。(主な内容：ガイドヘルパー)

### 【障害者移動支援事業利用者推移及び実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	
提供回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	6	18回

## 4. 放課後児童健全育成事業 実施状況

市受託事業として、地域福祉センターにおいて「ふれあいハウスひまわり」の名称で、児童の健康増進・情操を豊かにするねらいのもと、放課後の学びや遊びを主とした健全育成の機会及び総合的な拠点としての機能を活かし、一般住民・高齢者等が集えるという地域福祉センターという特色を生かした地域に開かれた憩いの場所・場面作りを展開した。

### 【放課後児童健全育成事業登録児童数推移及び利用実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録児童	71	71	71	74	74	74	74	75	76	76	76	76	
低学年	179	200	210	155	162	243	219	192	196	198	207	238	2,399名
高学年	205	249	228	179	205	200	201	216	258	243	223	276	2,683名
延べ利用	384	449	438	334	367	443	420	408	454	441	430	514	5,082名
開設日数	25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	293日
(内土曜)	5	4	4	5	4	5	5	4	4	4	3	4	51日

## 第2 安心を支援しよりそう事業の推進

### ①. 生活福祉資金貸付事業 実施状況

低所得者や高齢者、又は障がい者世帯等を対象に、資金の貸付と必要な指導援助を行うことで、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉の促進を図り、安定した生活を営める

よう、内容や状況により適正な専門機関・関係機関への引継ぎや情報提供等を含め、支援及び対処を行った。また昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症により休業や失業等によって資金が必要な方に対し、特例の緊急小口資金、総合支援資金の貸付事務を担当した。(特例貸付は令和4年9月30日受付終了)

※ 資金種類（年1.5%利子・保証人の有無・資金種類により無利子）

- ◇ 福祉資金・・・・(福祉費(生業、技能習得、療養等)13項目、緊急小口資金)
- ◇ 総合支援資金・・・・・・・(生活支援費・住居入居費・一時生活再建費)
- ◇ 教育支援資金・・・・・・・(教育支援費・就学支度費)
- ◇ 不動産担保型生活資金・・・・(高齢である低所得世帯及び要保護世帯向け)

令和4年度 相談受付件数 及び 貸付決定実績 (本会取扱分)			
資金種類	相談件数	申込件数	決定件数
①福祉資金・緊急小口資金	1件	0件	0件
②教育支援資金	0件	0件	0件
③総合支援資金	0件	0件	0件
④不動産担保型生活資金	0件	0件	0件
計	1件	0件	0件

種類	相談件数	申込件数	決定件数
①特例緊急小口資金	109件	104件	102件
②特例総合支援資金	58件	58件	58件
(再貸付)	18件	18件	18件
(延長申し込み)	9件	9件	8件

## ②. 五所川原市たすけあい資金貸付事業 実施状況

急な出費や低所得等、様々な要因から困窮している世帯を対象として、一時的な小口資金の貸付を行い、当該世帯の生活安定・支援を目的に貸付事業にて支援を実施した。

※ 貸付限度額：50,000円（無利子）※ 償還期間：最大10ヶ月間（2ヶ月間の据置期間有）

※ その他 連帯保証人と民生委員の承認が必要

資金種類	相談件数	申込件数	貸付件数と金額
生活資金	22件	15件	15件 627,000円
支度資金	0件	0件	0件
貸付計	22件	15件	15件 627,000円
※ 貸付件数の取扱内訳 本所(12件) 金木支所(1件) 市浦支所(2件)			
※令和4年度償還完了件数：合計 11件（過年度及び当年度分）			
			償還金合計 467,000円

## ③. 緊急通報

システム「福祉安心電話サービス事業」 実施状況

高齢者及び高齢者世帯等、独居や障がい、病気などで不安を抱える方を対象とし、日常の相談通報と緊急時に連絡できる通報装置の設置と、近隣住民等による見守り体制の構築を図り、24時間緊急時対応という安心を提供する事業を実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
利用者数	32	32	33	31	30	30	29	28	28	27	28	29	
内、加入者数			1								1	1	3
内、退会者数				2	1	1	1	1		1			7

#### ④. 電話訪問サービス「お元気ですかコール事業」 実施状況

「福祉安心電話サービス事業」利用会員へ、本人の希望により定期的な電話訪問を行い、健康状態や安否の確認、不安や孤独感解消を提供した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
利用者数	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	
訪問回数	38	42	40	39	39	34	40	38	36	35	34	38	延べ 453 回

#### ⑤. 福祉用具貸与事業 実施状況

低所得世帯や介護保険給付の対象外の高齢者等を対象に、車椅子や介護用特殊寝台を無償貸与することで、利用者の日常生活維持、介護者の負担軽減を目的とした事業を実施した。

	保有台数	貸出台数	返却台数	年度末実利用者数
車椅子	57	38	36	35
介護用特殊寝台	59	6	10	51

※介護用特殊寝台は貸出時に、マットレスクリーニング・搬入料として利用者負担有。

#### ⑥. 福祉移送サービス事業（一般乗用旅客自動車運送事業） 実施状況

外出が著しく困難な高齢者及び障がい者に対し、日常生活で必要な外出や社会参加、受診等を移送によって支援し、利用者の健康増進を推進した。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本所	稼働日数	20	19	21	19	22	20	21	20	20	19	19	23	243 日
	ケア輸送延べ数	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	6 件
	介護輸送延べ数	163	145	164	168	185	158	164	172	185	171	186	206	2,067 件
金木	稼働日数	17	18	19	19	17	19	20	20	20	18	18	20	225 日
	介護輸送延べ数	101	97	116	114	112	127	127	149	128	123	98	117	1,409 件
	(内乗降介助)	6	12	14	12	12	8	8	18	12	4	10	8	124 件
市浦	稼働日数	14	7	11	11	10	10	15	13	14	9	12	14	140 日
	介護輸送延べ数	33	14	22	22	32	22	38	34	32	26	30	30	335 件

## ⑦. 地域歳末たすけあい事業 実施状況

### 1) 出張サンタクロース事業（ＮＨＫ歳末たすけあい事業） 実施状況

一人親世帯の乳幼児（認定こども園等園児）を対象に、サンタクロースに扮したボランティアが、対象者へクリスマスプレゼントをお渡しした。今年度は自宅訪問、又は指定場所での受取をお選びいただく形で実施した。地域福祉及び福祉活動への理解と関心を深め、児童福祉を推進した。

○ 実施日：令和4年12月24日(土) ○ 対象者：48世帯53人

### 2) 各地区社協等実施事業

各地区において、歳末に見合った行事や訪問活動など、地区のニーズや課題に応じた事業を展開した。活動にあたり、地区社協役員や民生委員・児童委員連絡協議会、町内会等と連携し、駐在所等関係機関の協力を得、対象者の健康状態や日頃の気になっていることなどの相談ごとの把握に努め、その解決に向けた取り組みにつなげている。

○ 実施期間：令和4年12月1日～12月31日

#### 【地域歳末たすけあい 実施内容】

第一地区	高齢者世帯への見舞金贈呈事業 対象者：70歳以上独居世帯 299人 ◇ 協力員：民生委員等 25名
中央地区	高齢者世帯への見舞品贈呈事業 対象者：70歳以上独居世帯 423人 ◇ 協力員：民生委員等 29名
栄地区	お年玉プレゼント事業 対象者：75歳以上独居世帯 183人 ◇ 協力員：民生委員等 35名
梅沢地区	高齢者世帯への日用品贈呈事業 対象者：65歳以上独居世帯 54人 ◇ 協力員：地区社協・町内会長等 19名
七和地区	歳末たすけあい運動巡回訪問事業 対象者：75歳以上独居世帯、70歳上の支援を必要とする方 計 31人 ◇協力員：民生委員、地区社協、町内会長、七和駐在所 16名
長橋地区	達者で年越すそば事業 対象者：70歳以上独居世帯 46人 ◇ 協力員：地区社協等 16名
松島地区	高齢者世帯へのお年玉贈呈事業 対象者：77歳以上独居世帯 40人 ◇ 協力員：民生委員等 10名
飯詰地区	高齢困窮者への物資支援事業 対象者：70歳以上の在宅困窮者 23人 ◇ 協力員：民生委員等 17名

毘沙門 長富地区	高齢者世帯への歳末助け合い事業 対象者：80 歳以上独居世帯 20 人 ◇ 協力員：民生委員等 6 名
中川地区	高齢者世帯への歳末品贈呈事業 対象者：70 歳以上独居世帯 30 人 ◇ 協力員：地区社協役員 17 名
三好地区	高齢者および寝たきり世帯等への歳末粗品贈呈事業 対象者：70 歳以上独居世帯、生活保護世帯、在宅寝たきり世帯（自宅で介助が必要な世帯）計 64 名 ◇ 協力員：民生委員等 14 名
金木地区	しめ縄づくり温か交流事業：ひとり暮らし高齢者等を中心に、子育て世代も含めた地域住民を対象とし、新年を迎えるためのしめ縄づくりで、相互の交流を図ることを目的に 11 月 16 日～12 月 20 日の期間で実施。 旧金木町内：計 5 会場：(参加計 138 名) ◇協力：五所川原市連合婦人会金木地区婦人会
市浦地区	お楽しみお食事会：ひとり暮らし高齢者を対象に、世代間交流や介護予防を行い、昼食と一緒にとりながら交流会を実施。24 名参加。 ◇協力：なんでもかだるべし～うら、第七民児協

### 第3 身近で相談できる体制づくり

#### ①. 心配ごと相談所運営事業 実施状況

地域住民の日常生活における心配ごと相談に対応、直接的な助言及び内容に応じた関係機関への適切な引継ぎなどを実施、及び間接的には、電話転送システムを用いた 24 時間相談受付体制を加え、総合相談の役割を果たした。令和 4 年度の全相談受付件数は、127 件の実績となった。

#### ②. 在宅介護支援センター運営事業 実施状況

在宅介護に関する総合的な相談・助言と情報提供等を行った。 1) 介護保険事業全般 2) 権利擁護 3) 虐待問題 4) 介護相談 5) 医療・疾病などの相談を受け付け、利用者及びその家族の在宅福祉の向上を図ることを目的とし実施した。

※ 在宅介護支援センターは、五所川原市地域包括支援センターの協力機関として位置付け

【在宅介護支援センター事業実績】

令和4年度	総合相談		実態把握		見守り依頼	ニーズ調査
	初回対応	継続・専門	当年度初回	継続		
五所川原市社会福祉協議会 在宅介護支援センター	16件	114件	16件	25件	0件	0件
金木在宅介護支援センター	38件	122件	18件	36件	0件	7件
市浦在宅介護支援センター	38件	175件	9件	27件	0件	18件
計	92件	411件	43件	88件	0件	25件
会議等内 容	地域ケア会議	計 5 回 (内、リモート会議 4回)				
	協力機関業務連絡会	計 5 回				
	認知症フォーラム会議	計 5 回				
	※ 事業周知及び介護相談情報提供 :	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘉瀬はなや嘉サロン (5/23) ・沢部町内会 (7/23)</li> <li>・金木老人クラブ連合会芸能発表会 (10/23) ・烏森町内会サロン (11/18)</li> <li>・下平井町内会サロン (1/16)</li> </ul>				
	※ 青森県地域包括支援センター職員研修 :	令和5年1月23~24日 (2日間)				

### ③ 行政及び専門機関との連携・協力 実施状況

住民からのあらゆる相談に対応するため、他の社会資源と連携し、必要に応じて専門機関との情報共有等、個人情報保護を踏まえた情報提供を実施した。

※関連機関 ◇五所川原市（関連各担当部署） ◇青森県（西北地域県民局）  
 ◇関連する社会福祉協議会 ◇施設・当事者団体 など

### ④ 地域住民からの意見、提案、課題等収集

地域福祉活動推進のため、本会ホームページを活用し連絡先等を公開、相談受付体制整備や地域における市民団体・各企業等の調査、及び広報紙を通じた意見や要望等を募った。結果、電話・メールによる直接的な助言は、関連部署において事業検討時に取り上げ都度検討、一般的な質問等は「何でも相談」として受け付けており、必要に応じた対応を行った。

## 第4 新たな課題に対応する取り組み

### ① 社会貢献活動推進事業（青森しあわせネットワーク）実施状況

青森県内の社会福祉法人が連携し、既存の制度やサービスでは対応できない課題に迅速に対応するために、支援が必要な人を早期に把握し、具体的な解決を図ることによって、社会福祉法人の使命を積極的に果たしていくことを目的とした社会貢献活動で、青森県社会福祉協議会が管理運営。この活動に参加する本会は、総合相談、経済的援助、ワークサポート、食糧等の提供など、様々な課題で支援が必要な方に幅広い支援を実施した。

◎会議・研修等実施状況

月 日	内 容 等
令和 4 年 5 月 10 日	コープあおもりからの農産品の受取に係るオンライン説明会
令和 4 年 12 月 20 日	「青森しあわせネットワーク」令和 4 年度推進会議
令和 5 年 2 月 3 日	「食でつながるフェスタinあおもり」
令和 5 年 2 月 9 日	コミュニティソーシャルワーカー養成研修・福祉サービス利用編

◎相談支援実績等

	相談件数	支援件数	経済的援助	就労体験活動費	内容等
4月	0件	0 件			
5月	0件	0 件	¥ -		
6月	0件	0 件	¥ -		
7月	0件	0 件	¥ -		
8月	0件	0 件	¥ -		
9月	1件	1 件	¥ 5,540		食材費、証明書発行費用
10月	0件	0 件	¥ -		
11月	0件	0 件	¥ -		
12月	0件	0 件			
1月	0件	0 件	¥ -		
2月	1件	1 件	¥ 41,834		電気代、水道代、ガス代
3月	1件	1 件	¥ 8,681		電気代
合 計	3 件	3 件	¥ 56,055	¥ -	

②. フードバンクシステムの活用（つがる西北五広域事業）実施状況

食料品等の調達に苦慮する世帯に対して、善意による寄贈品や販売困難品を譲り受け、これを自立支援上必要とする住民に提供するシステムを、つがる西北五社協職員連絡会との連携を基に構築し、体制を整備。令和 4 年度は、53 件の相談受付及び食料等支援を行った。

③. 五所川原こども宅食おすそわけ便事業

企業や市民などの方々から善意でご提供いただいた食材・日用品等を、支援を必要としている子育て世帯の方々へ“おすそわけ”の形で提供することにより、「つながりつづける」ことを目的に実施した。市内社会福祉法人や民生委員等地域住民、企業等の協力を得ながら、定期便として、年 6 回開催した。（ほか、時期や内容を特化した随時企画（おさがり交換会、女性用品等の配布）では、延べ 302 名が利用した。

定期実施日	対象者数	協力
令和 4 年 4 月 23 日	406 世帯	ボランティア 54 名、11 法人
令和 4 年 6 月 25 日	379 世帯	ボランティア 59 名、10 法人

令和4年8月27日	375世帯	ボランティア51名、14法人
令和4年10月29日	447世帯	ボランティア45名、16法人
令和4年12月17日	442世帯	ボランティア54名、16法人
令和5年2月25日	450世帯	ボランティア60名、16法人

## 地域福祉活動を支える『基盤づくり』

### 第1 広報・啓発活動の充実

#### ①. 広報紙「社協ごしょがわら」の発行（年6回） 実施状況

地域福祉やボランティア等に関する各種情報を積極的に伝え、福祉活動等への理解や参加協力を求め、法人活動の透明性を高めるための広報紙を共同募金配分金活用のもとに発行。各回23,000部を毎戸配布し、市民の方々や関係機関などから頂いた多くの意見や助言を参考に有用な情報を提供した。

#### 1-2. 「声の社協」の発行 実施状況

視覚障がい者が社会生活上必要な地域の情報を取得できる手段の一つとして、本会社協ごしょがわらを音声化し、利用登録者へ発行。視覚障がい者の社会参加、福祉増進を実施。

※ 利用登録者 9名      ※音訳ボランティア 個人2名、企業1社

#### ②. ホームページ運営事業 実施状況

社協活動や各種福祉情報が得られるよう、本会ホームページを運営。市内外の様々な方へ周知・情報を提供し、寄附内容等を隨時ブログに掲載した。また電子メールの公開により、県外からの問い合わせや内容照会があり、種々相談に応じた。

#### 2-1. 社協パンフレット作成 実施状況

広く住民や関係機関に対し、本会の事業内容や理念をご理解頂くため、パンフレット・リーフレットを作成。社協の認知度向上と理解を目的に機会がある毎に適宜配布を実施した。

### 第2 組織体制の強化

#### ①. 法人（会務）の適正な運営 実施状況

本会理事・評議員会、その他会議及び研修会の開催により、適正な法人運営を図ると共に、機能強化並びに社会福祉活動の活性化を推進。各関係機関・地区社協総会等に出席することで、積極的に福祉環境の実態を広く把握するとともに本会事業の推進や状況周知を実施した。

##### (1) 理事会

第 1	開催日	令和4年6月10日（金）：市社協2階会議室
	出席者	理事8名、監事2名、事務局3名

	議案	1.令和3年度事業実施報告について 2.令和3年度決算報告について 3.理事の欠員補充（案）について
第1回	議案	4.評議員の欠員補充等（案）について 5.会員及び会費規程の一部改正（案）について 6.令和4年度定時評議員会の開催（案）について <報告事項> ①会長及び常務理事の職務執行状況について ②社会福祉充実残額が生じない件 ③自己評価の件 ④懲戒処分の件
		結果 1~6号原案どおり決議
第2回	開催日	令和4年8月17（水）：市社協2階会議室
	出席者	理事10名、監事2名、事務局3名
第3回	議案	1.第65回五所川原市社会福祉大会の開催について 2.市社会福祉大会表彰・感謝状候補者の審査について 3.経理規程の一部改正（案）について <報告事項> ①令和4年8月大雨にかかる五所川原市社協の対応について
		結果 1~3号原案どおり決議
第4	開催日	令和4年12月15日（木）：市社協2階会議室
	出席者	理事11名、監事1名、事務局3名
	議案	1.令和4年度資金収支補正予算（案）について 2.五所川原市たすけあい資金償還免除（案）について 3.令和4年度第1回臨時評議員会の開催（案）について <報告事項> ①五所川原市公の施設の指定管理運営等に関する計画（案）について ②令和4年度中間監査の結果について
		結果 1~3号原案どおり決議
	開催日	令和5年3月8日（木）：市社協2階会議室
	出席者	理事9名、監事1名、事務局3名

	1.令和 4 年度第 2 次資金収支補正予算（案）について 2.令和 5 年度事業計画（案）について 3.令和 5 年度資金収支予算（案）について 4.令和 5 年度役員等賠償責任保険契約（案）について 5.定款の一部変更（案）について 6.養護老人ホームくるみ園運営管理規程一部変更（案）について 7.令和 4 年度第 2 回臨時評議員会の開催（案）について 8.事務局長の任免について  <報告事項> ①会長及び常務理事の職務執行状況について ②社会福祉法人指導監査の結果について ③社会福祉施設に係る指導監査結果と改善計画について
結果	1~8 号原案どおり決議

## (2) 評議員会

定期	開催日	令和 4 年 6 月 29 日（水）：五所川原市民学習情報センター
	出席者	評議員 24 名、理事 5 名（会長、副会長 3 名、常務理事）、監事 2 名、事務局 3 名
	議案	1.令和 3 年度事業実績報告について 2.令和 3 年度決算報告について 3.理事の欠員補充（案）について 4.会費及び会費規程の一部改正（案）について  <報告事項> ①評議員選任・解任委員会の結果について ②社会福祉充実残額が生じない件 ③自己評価の件 ④懲戒処分の件
	結果	1~4 号原案どおり決議
第 1 回臨時	開催日	令和 4 年 12 月 23 日（金）：五所川原市民学習情報センター
	出席者	評議員 19 名、理事 5 名（会長、副会長 3 名、常務理事）、事務局 3 名
	議案	1.令和 4 年度資金収支補正予算（案）について 2.五所川原市たすけあい資金償還免除（案）について  <報告事項> ①令和 4 年度中間監査の改善状況について ②五所川原市公の施設の指定管理運営等に関する計画（案）について

	結果	1～2号原案どおり決議
第2回臨時	開催日	令和5年3月17日（金）：五所川原市民学習情報センター
	出席者	評議員22名、理事5名（会長、副会長3名、常務理事）、監事2名、事務局3名
	議案	1.令和4年度第2次資金収支補正予算（案）について 2.令和5年度事業計画（案）について 3.令和5年度資金収支予算（案）について 4.定款の一部変更（案）について <報告事項> ①社会福祉法人指導監査の結果について ②社会福祉施設に係る指導監査結果と改善結果について
	結果	1～4号原案どおり決議

### （3）監査会

第1回	開催日	令和4年6月1日（水）：市社協2階会議室
	出席者	監事3名
社会福祉法第40条及び関係法令に基づき、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度に関し、・理事の業務執行状況・実施事業の状況・会計及び財産の状況等について監査の結果、事業部門に指導事項が1件あったものの、事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、いずれも適正に実施していると認められた。		
第2回	開催日	令和4年11月17日（木）：保健センター市浦「ピンコロ館」
	出席者	監事3名
本会事業計画に基づき、令和4年度第2回監査を五所川原市社協市浦支所で実施。事務管理、労務管理、事業管理、指定管理関連等について監査の結果、改善を要する事項はなく、概ね良好であると認められた。		

### （4）評議員選任・解任委員会

開催日	書面表決（五市社協発第100号令和4年6月10日付の通知）
通知先	評議員選任・解任委員4名
評議員退任に伴う欠員補充するための評議員選任候補者の書面開催において、委員4名から候補者全員を評議員とする賛成の表決書を得た。	

## (5) 五所川原市たすけあい資金運営委員会

開催日	令和4年11月17日(木)：市社協2階会議室
出席者	運営委員4名、事務局3名
長期末償還貸付8件の対応について、死亡・行方不明等の理由から回収困難であり、委員一同、償還免除相応という意見であった。	

## ②. 各部署定例会議の開催 実施状況

### 【管理職会議の開催】

事務事業等を円滑に推進するため、事務局長並びに部署の長による法人運営会議を12回開催し、意思統一及び職務遂行の基本事項の確認、各事業の現状把握に努めた。

### 【各部署による会議の開催】

各部署による定例会議の開催により、業務の課題解決・進行状況の確認を目的とし、意思統一の取れた認識のもと職員間の連携を図り、また各施設間との連絡・調整に努めた。

- ◇ 総務管理課 総務管理課内会議：週に一度の打ち合わせを実施
- ◇ 地域福祉課 地域福祉課月次会議：12回実施
  - ※ その他、ケース検討会議を適宜実施
- ◇ 介護福祉課 訪問介護・通所介護推進会議：12回実施
  - ※ その他、部門別各事業所間の三所会議を実施
- ◇ 居宅介護支援事業所 ケース検討会議：本会三事業所にて、週に一度の実施
- ◇ 金木支所 職員月次会議：12回実施
  - ※ その他、週に一度の職員会議、検討会議を適宜実施
- ◇ 市浦支所 ケース検討会議を適宜実施
- ◇ くるみ園 職員会議：12回実施
  - ※ その他、各種検討委員会、ケース検討会を適宜実施
- ◇ 地域福祉センター（通所介護事業） 職員月次会議：12回実施
  - ※ その他、ケース検討会を適宜実施

### 【職員の資質向上】

変わりゆく制度や情報を的確に把握し、対応力を身につけるため、各種研修会へ積極的に参加し内容を共有すると共に所内のスーパーバイズ等による職員の資質向上に努めた。

## ③. 地区社協や関係機関との連携・協働事業 実施状況

地域福祉を進める上で、関係機関等のそれぞれの機能を活かしながら、地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けた取り組みを行っていくために、より一層の連携・協働に努めた。

## 1) 社会福祉実習及び体験実習等受入状況

本会機能の社会開放の一環としての職場体験、就労体験等希望者を受け入れ、福祉啓発や福祉人材育成、職業意識の醸成を図った。

◇ 弘前大学 学生 1名（義務教育教員免許志願者に対する

介護等体験事業・5日間）・・・養護老人ホームくるみ園

◇ 東北福祉大学 4年1名（社会福祉援助実習）24日間

◇ 弘前学院大学 2年1名（ソーシャルワーク実習）9日間

◇ 青森県立保健大学 2年1名（ソーシャルワーク実習）12日間

## 2) 市浦医科診療所「急患取次ぎ」状況

市浦生活支援ハウスに隣接する市浦医科診療所の時間外照会に対し、包括ケア推進事業の一環から、急患業務の取次ぎ等を行う体制を整え住民サービスを高めた。（平日の夜間、17:00から翌8:15、及び土・日・祝日の24時間対応）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
救急受入数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(内) 市民	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急患等取次数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 時間外電話対応24件。

## 3) 介護施設運営推進会議への参画状況

運営推進会議は、各地域密着型サービス事業所が利用者に対し、提供しているサービス内容等の情報開示により、地域との連携かつ地域に開かれたサービスとして、サービスの質の確保を目的に設置。地域各施設からの参画依頼を受け、職員を派遣し地域に適した事業所運営等に寄与した。

※本会の参画施設（8施設） ◇ 地域密着型特別養護老人ホーム「さくらの里」

◇ グループホーム「エルムの里」 ◇ グループホーム「憩いの家」

◇ 小規模多機能型居宅介護「ケアホームのりた」、「ケアホームいこい」

◇ 小規模多機能型居宅介護「E S C O R T ケアここあん」

◇ グループホーム「さくら園」 ◇ グループホーム「いこいの里」

## 第3 財政基盤の確保・強化

### ① 会員会費制度の周知と拡大 実施状況

地域福祉活動推進への財源確保のため、住民等が社協活動の重要性を理解し、社協会員として継続的に地域福祉活動への参加・協力頂けるよう、積極的な周知に努め、会員（一般会員・賛助会員）の拡大・推進を行った。

#### 1) 会費等の状況

本会の自主事業を支える根幹であり、事業充実のためにも重要な財源であるとともに、各種活動や住民理解によって本会組織の強化に努めた。

① 一般会費

地区社協	金額（円）	地区社協	金額（円）
第一地区	475,100	三好地区	121,200
中央地区	741,300	飯詰地区	148,800
栄地区	446,780	毘沙門長富地区	74,400
梅沢地区	80,100	中川地区	88,800
七和地区	167,400	金木地区	466,760
長橋地区	139,200	市浦地区	164,400
松島地区	344,100	計	3,458,340

② 賛助会費

No.	氏名・団体名	金額（円）
1	株式会社 青森電子計算センター	10,000
2	ワタキューセイモア株式会社八戸営業所"	10,000
3	株式会社 ワイズマン	10,000
4	環境保全 株式会社	10,000
5	有限会社 三浦石油商会	10,000
6	株式会社 町田アンド町田商会	5,000
7	株式会社 毛内酒店	10,000
8	株式会社 マルキ	10,000
9	又上電気 株式会社	10,000
10	株式会社 又上佐々木呉服店	10,000
11	五所川原印刷 株式会社	10,000
12	有限会社 池田石油	10,000
13	有限会社 サンセイ住設	10,000
14	有限会社 森永ストア	5,000
15	白川食品	10,000
16	有限会社 ジャンボドライ五所川原工場店	5,000
17	株式会社 青森保険センター	10,000
18	有限会社 あっぷる保険事務所	20,000

19	代理店 損害保険事務所 蒔忠	10,000
20	有限会社 安田自動車钣金	10,000
21	さかえ自動車整備工場	10,000
22	有限会社 松江造花仏壇店	10,000
23	いしおか	5,000
24	株式会社 須崎建設	5,000
25	トヨタカローラ青森株式会社介護福祉用具相談室柏店	10,000
26	有限会社 金木工業	10,000
27	工藤海産物	10,000
28	レストランわらび	5,000
29	有限会社 村元水道工業	10,000
30	株式会社 中里観光	10,000
31	鮮魚飛鳥	10,000
32	小関精肉店	10,000
33	株式会社 成長ストア	5,000
34	株式会社 さかもと青果	10,000
35	株式会社 川浪米穀	5,000
36	高松こめや	10,000
37	牛肉のマルヨ	10,000
38	工藤精肉店	10,000
39	有限会社 山本水産	5,000
40	福士とうふ店	5,000
41	七商	10,000
42	有限会社 羽藤商事	10,000
43	株式会社 藤久らばんやりあ	10,000
44	株式会社 みかみ商事	10,000
45	株式会社 サン・コーポレーション	10,000
46	有限会社 高橋電業	20,000
47	株式会社 西北機器サービス	20,000
48	株式会社 環境技研	10,000
49	有限会社 たむら文具	10,000
50	つがる惣菜	10,000
51	工藤忠商店	10,000

52	株式会社 丸英でんき	10,000
	計	500,000

③ 役職員会費

内訳	金額（円）	備考
本会役員及び評議員 47名	94,000	

2) 寄附金等の状況

社会福祉事業寄附金

No.	氏名・団体名等	金額（円）	他物品
1	つがる逍遙会	30,000	
2	五所川原中央ライオンズクラブ	80,000	
3	館山 勝正	2,847	
4	北斗エンタープライズ	27,600	
5	カラオケみちのく会	22,000	
6	匿名	10,000	
7	新日本舞踊 藤都流 松誉会	30,000	
8	株式会社 恵 めぐみ薬局	50,000	
9	五所川原中央ライオンズクラブ	10,000	
10	五所川原街づくり株式会社	65,000	カップ麺 11個、レトルト食品他
11	五所川原東日流ライオンズクラブ	10,000	
12	五所川原ライオンズクラブ	10,000	
13	里山ボランティアグループ	5,000	
14	金木もちっこの会	10,000	
15	株式会社 ミワ電工	100,000	ブルタブ 57 kg
16	高見会 深見ユキノ一行	20,000	
17	フリーミストクラブ	10,000	
18	匿名	10,000	
19	五所川原中央ライオンズクラブ	74,000	
20	つがる逍遙会 代表 倉光 一恵	30,000	
21	日本道路株式会社 青森合材センター	24,776	ブルタブ 26.2 kg、古切手 26 g
	計	631,223	

善意銀行事業寄附物品等

No.	氏名・団体名等	物品等
1	匿名	レトルト食品 10 個、マカロニ 1 袋、他
2	匿名	マグカップ 11 個
3	匿名	カップ麺 4 個、マスク 5 袋、他
4	匿名	ホッカイロ 1 箱、ジュース 1 本、他
5	鹿内 靖子	小説 CD16 枚、中古パステル 12 本、他
6	一般社団法人 Clan PEONY	リンゴジュース 210 本
7	匿名	お米 10 kg
8	天理教 西北Ⅱ支部	乾麺 6 袋、袋ラーメン 4 袋、他
9	匿名	じゃがいも 200 kg
10	株式会社 川浪米穀店	精米作業 750 kg 分
11	有限会社 其田農園	長芋 140 kg
12	川浪 聖子	ランドセル 2 個、こども服古着
13	法永寺	入浴剤 5 箱、食器洗剤 6 本、他
14	匿名	乾麺 10 袋、飲料品 46 本
15	株式会社 みかみ商事	カップ麺 36 個、スナック菓子 40 個、他
16	天理教 西北Ⅰ支部、西北Ⅱ支部	長芋 1 本、人参 1 kg、他
17	匿名	バスタオル 25 枚、手拭 289 枚、他
18	五所川原街づくり株式会社	カップ麺、レトルト食品、他
19	匿名	リンゴジュース 24 本
20	天理教 西北Ⅱ支部	衣服、キャリーバッグ 1 個
21	匿名	冷凍庫 1 台、冷凍食品
22	天理教 西北Ⅱ支部	女性用品 180 枚
23	匿名	弁当箱 1 個、割り箸 100 膳、筆記具
24	笠井 とみよ	金のなる木 14 株
25	株式会社サン・コーポレーション	カップ麺 200 個
26	匿名	箱菓子 3 箱、リンゴジュース 30 本、他
27	天理教 西北Ⅱ支部	箱ティッシュ 5 袋、他
28	法永寺	菓子、ゼリー、ジュース
29	連合青森西北五地域協議会	白米 80 kg、レトルトカレー 100 個

30	匿名	カレールー4箱、袋ラーメン8袋、他
31	匿名	冷凍庫1台、冷凍食品
32	株式会社 みかみ商事	南部煎餅、菓子
33	廣田 宗亮	レトルト食品9個、缶詰7缶、他
34	株式会社 裕健 ひなた薬局	子ども用おむつ24袋、生理用品45袋
35	匿名	玄米60kg
36	匿名	白米10kg
37	匿名	白米10kg、袋ラーメン4個、他
38	(有限)ジャンボドライ五所川原工場店	菓子8個、缶詰1個
39	亀田 幸美	そば1箱、ヘアアイロン1個、靴1足
40	藤森 翔海、藤森 鳳	菓子112個
41	匿名	玄米30kg
42	千葉 瞳	菓子3個、バウンサー1個
43	公益社団法人 五所川原青年会議所	不織布マスク39箱、マスクカバー488枚
44	匿名	お尻ふき9個、子供用オムツ5袋
45	佐藤 瑞穂	レトルト食品22個、絵本20冊
46	日の出町町内会	生理用品150袋、食料
47	匿名	レトルト食品13個、他
48	五所川原中央ライオンズクラブ	飲料品10箱
49	五所川原東日流ライオンズクラブ	飲料品10箱
50	五所川原ライオンズクラブ	飲料品10箱
51	匿名	飲料品12本、カップ麺12個、他
52	匿名	飲料品49本
53	法永寺	飲料品28本、インスタントスープ12個、他
54	五所川原金木ライオンズクラブ	非常食(白飯)400個
55	株式会社 みかみ商事	ゼリー60袋
56	匿名	プチトマト100袋、ズッキーニ24本
57	赤い屋根の喫茶店「駅舎」	菓子100個
58	(社団)サイクルエクスプローラーあおもり	
59	JAつがるにしきた女性部	野菜等の食品、文房具、他
60	境谷 葉子	タオル類12枚、他
61	加藤 忍	白米20kg、袋ラーメン3袋、他
62	日本赤十字社 青森県支部	ボディーシート96袋、他

63	吉田 紗子	菓子9個、箱ティッシュ2箱、他
64	第一柳町町内会	生理用品35袋
65	匿名	半纏8枚
66	蝦名 早苗	子供服6着
67	亀田 幸美	箱菓子1箱
68	(社福)みなと寮みなと弘済園	飲料品6箱
69	匿名	りんご80kg
70	株式会社 みよし野	白米180kg、ネギ10kg
71	秋村 志信	紙おむつ6袋、尿取りパッド10袋
72	匿名	雑誌の付録45個
73	匿名	紳士服類8点
74	工藤 幸太	子供用オムツ約3袋、子供用マスク2箱、他
75	株式会社 サン・コーポレーション	カップ麺200個
76	匿名	りんご50kg、箱菓子2個
77	匿名	うどん1箱、こども服、他
78	株式会社 裕健 ひなた薬局	キッチンハイター60本、他
79	土岐 敬一	りんご約60kg
80	匿名	みかん1箱、箱菓子4個
81	匿名	ハイター、ハンドソープ、他
82	匿名	飲料品27本、箱菓子5個、他
83	亀田 幸美	コーヒーセット1箱
84	匿名	そり3台
85	加藤 忍	袋ラーメン3袋、カップ麺5袋、他
86	明治安田生命 五所川原営業所	こども服、絵本、リュック、他
87	つがるにしきた農業協同組合	白米630kg
88	青森県農業協同組合中央会	白米600kg
89	匿名	こども服17点、絵本1冊
90	株式会社 みかみ商事	ゼリー12袋、菓子4箱
91	天理教 西北I支部	りんご10kg
92	天理教 西北I支部、西北II支部	トイレットペーパー2袋、他

93	匿名	玄米 180 kg
94	うめだりんご園	リンゴジュース 60 本、りんご 5 箱
95	匿名	白米 20 kg
96	匿名	ボンカレー30 個
97	匿名	飲料品 1 箱、マスク 50 枚
98	匿名	子供用オムツ 1 袋、30 枚
99	天理教 西北Ⅱ支部	生理用品 5 袋
100	小野 慶子	マフラー32 本、他
101	コープあおもり浪岡センター	生理用品 96 袋、マスク 2 箱、他
102	日本道路株式会社 青森営業所	備蓄品白飯 100 袋、缶パン 48 個
103	匿名	200ml 牛乳パック 187 本
104	匿名	200ml 牛乳パック 174 本
105	外崎 正憲	ぬいぐるみ 30 個
106	匿名	バスタオル 100 枚、タオル 300 枚
107	匿名	玄米 420 kg
108	伊藤 美穂子	玄米 (R3) 180 kg
109	中村 まゆみ	りんご 20 個、飲料品 16 本
110	有限会社 其田農園	長いも約 210 キロ
111	小田川浩三	大根 4 本
112	明治安田生命保険相互会社	ぬいぐるみ、他
113	コープあおもり浪岡センター	シロップ漬けりんご 25 袋
114	天理教 西北Ⅰ・Ⅱ支部	りんご 200 個、ティッシュ 25 個、他
115	JAつがるにしきた女性部(深浦支部)	米 15 キロ、タオル、シーツ類、他
116	船水雄一郎	お菓子類
117	株式会社みかみ商事	ネギみそ煎 2 箱(24 個)、他
118	株式会社 裕健 ひなた薬局	キッチンハイター60 本、アタック 30 本
119	川村 純子	レトルトミートソース 4 袋、パスタ麺 2 袋
120	五所川原市立五所川原第三中学校	ボックスティッシュ 5 セット、他
121	匿名	子供服(古着)、他
122	白戸 健	箱菓子 2 箱
123	匿名	車椅子 2 台
124	外崎れい子	しめ縄飾り
125	匿名	スキーウエア、歯ブラシキャップ、他

126	匿名	白米 15 kg
127	匿名	白米 40 kg
128	匿名	餅 5 kg
129	ごしょつがる農業協同組合	白米 1t、りんご 1 t (各 10 kg × 100 袋)
130	匿名	子供用オムツ 1 袋、レトルト食品 21 個
131	匿名	ランドセル 1 個
132	五所川原地区婦人会 日赤五所川原奉仕団 五所川原分団	襟巻 200 本
133	株式会社 サン・コーポレーション	カップ麺 200 個
134	五所川原歩こう会	煎餅詰合せ 8 袋
135	飯詰を元気にする会	みかん 6 箱、かぼちゃ 10 個
136	天理教 西北 I ・ II 支部	りんご 3 箱、食料品、日用品、女性用品
137	匿名	大根 10 本
138	匿名	白米 30 kg
139	匿名	電気加熱式鍋 1 個

## ②. 赤い羽根共同募金等の促進 実施状況

住民等へ赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の趣旨を理解頂き、募金活動への協力を依頼すると共に、募金実績による配分金の拡大を目指し、地域福祉の向上に努めた。

## ③. 有料広告の利用促進 実施状況

社協広報誌（社協ごしょがわら）の一部紙面を積極的に活用し、広告掲載を希望する民間企業等の募集に努め、広告料収入の増額を推し進めた。

### 【広告掲載等の状況】

No.	法人名	金額 (円)	備考
1	株式会社 丸英でんき	50,000	
2	株式会社 奥田	26,000	
3	有限会社 アート印刷	65,000	
4	株式会社 五所川原ケアセンター	130,000	
計		271,000	

#### ④. 各種助成の確保 実施状況

社会福祉法において、社会福祉協議会が公共性の高い地域福祉推進の中核的組織であることに基づき、福祉事業充実のための補助金・受託金の継続的な支援を働きかけた。

#### 第4 指定管理者制度の取り組み

##### ①. 五所川原市養護老人ホームくるみ園管理運営事業 実施状況

五所川原市養護老人ホームくるみ園の管理運営を受託して19年が経過。くるみ園に入居している43名（平均入居期間4年6ヶ月）の心身機能や生活意欲、ご家族の意向も把握して、実態に基づいた支援に取り組んだ。

入居者は、心身機能の衰えに不安を抱きつつも、機能低下予防への意識が低く、残存機能を積極的に活用する機会も少ないなどの課題を抱えているため、個々の課題解消による自立した生活を目指し、心身機能や意欲を考慮した活動計画や支援計画を作成した上で、ゲームや運動、外出、創作活動、軽作業など、相互交流のできる小グループ活動を実施し、主体性や社会性の向上を図った。

- 1) 健康支援：日々の心身の状態観察や内科・精神科の定期的な診察、また年2回の健康診断の実施で、疾病の早期発見、早期治療により重症化予防等を図るとともに、感染症予防対策として、手洗い・手指の消毒・うがい等を徹底した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、ワクチン接種を柱に、不要不急の外出を極力控え、面会の制限または禁止については、くるみ園広報紙「かけはし」にてご家族へ伝え、協力を依頼した。
- 2) 食事支援：適正な栄養補給、嗜好等に配慮し、飽きのこない献立作りや食事環境を変えることで、更なる食に対する興味関心を図った。また、入居者の疾患や身体機能をそれぞれの職種間で情報共有し、適切な食材や食事形態で食事の提供を行った。
- 3) 生活支援：養護老人ホームの使命と多様化する要望に応えるため、入居者やご家族と十分な話し合いを行い、相互の合意に基づく計画を作成し、昼夜を問わず支援できる体制作りを図った。また、長引く新型コロナウイルスの影響により、地域住民参加型の行事等が制限される中、感染防止対策を行ったうえで、レクリエーション活動の充実や、園内外行事等を実施した。
- 4) 防災対策：年2回の総合避難訓練（内1回は夜間避難訓練）を実施したほか、地域全体での施設防災への関心を高め、入居者の安心安全な生活の確保に努めた。  
また、昨年8月の大雪災害の際、五所川原市との「福祉避難所の確保に関する協定書」に基づき福祉避難所を開設し、被害に遭われた福祉施設の入居者6名を受け入れ、防災福祉向上の一助を担った。

☆ 各種展開活動状況

活動区分	令和4年度の主な活動内容	参加人数
月例活動	グラウンドゴルフ・バイキング昼食・誕生会他	延べ 1,000名
季節活動	小グループ外出・相撲星取り他	延べ 606名
年間活動	運動会・新年会他	延べ 120名
地域活動	ボランティア交流・各種実習者受入れ他	延べ 42名
自主活動	手工芸活動・基礎運動活動・作業応援活動・レク活動他	延べ 933名

☆ 高齢者生活管理指導短期宿泊事業利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1名	1名	2名
利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14日	20日	34日

☆ 市町村別入居者状況（令和4年3月31日現在）

	五所川原市	つがる市	青森市	鶴田町	中泊町	鰺ヶ沢町	深浦町	計
男性	8名	2名		2名				12名
女性	22名	4名	1名		1名	2名	1名	31名
計	30名	6名	1名	2名	1名	2名	1名	43名

☆ 入居者及び入退所（月末）状況（入所者11名・退所者12名）

区分(月)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所者動態数	1名	1名	1名			1名				1名		3名	8名
退所者動態数		1名	1名		1名	2名				1名		1名	7名
男性入居者数	13名	13名	13名	13名	13名	11名	11名	11名	11名	11名	11名	12名	
女性入居者数	30名	30名	30名	30名	29名	30名	30名	30名	30名	30名	30名	31名	
末日在籍者数	43名	43名	43名	43名	42名	41名	41名	41名	41名	41名	41名	43名	

☆ 入居者の性別・年齢別状況（令和4年3月31日現在・平均年齢）

年齢区分	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	平均年齢
男性	2名	1名	2名	4名	3名	0名	79.3歳
女性	2名	8名	1名	5名	7名	8名	82.3歳
計	4名	9名	3名	9名	10名	8名	81.5歳

## ②. 五所川原市地域福祉センター管理運営事業 実施状況

福祉活動の拠点として五所川原市地域福祉センターの管理を受託運営。高齢者・障がい者及び地域住民に各種福祉サービスを提供し、施設機能の開放を行うことにより、団体・市民等の福祉増進・意識高揚に努め、人材の育成や福祉情報の発信等を行った。また、必要に応じ各種団体・機関等へ施設設備の開放（貸館業務）を実施、並びに館内清掃やレクリエーションなどのボランティアの協力を受入れ、館内的一部を使用した児童福祉の活動拠点「ふれあいハウスひまわり」にて、健全な遊び、高齢者等との交流にも努め、活気あふれるセンターの管理運営を行った。

開設日数	323 日	ボランティア受入状況	延べ 96 名
利用団体数	延べ 25 団体	年間利用人員	延べ 1,675 名

☆ふれあいハウスひまわり運営状況は放課後児童健全育成事業実施状況として記載。

### ③. 金木中央老人福祉センター管理運営事業 実施状況

地域に開放された施設として、高齢者の福祉や健康増進を目的に週6日間開設（毎週月曜日休館）し、温泉機能の提供、各種相談への対応及び団体等の活動推進に寄与し、多数の方が活用した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	308 日
有料入館者	1,962	2,018	1,934	1,934	1,688	2,053	1,686	1,801	1,936	1,847	1,894	2,215	22,968 名
無料入館者	2,409	2,344	2,385	2,209	1,899	2,123	2,019	2,384	2,280	2,392	2,286	2,663	27,393 名
計	4,371	4,362	4,319	4,143	3,587	4,176	3,705	4,185	4,216	4,239	4,180	4,878	50,361 名

### ④. 生活支援ハウス管理運営事業 実施状況

高齢者等に対し、介護支援機能・居住機能及び交流機能の総合的な提供により、通所利用者や入居者に多くの喜びと潤い、福祉増進を提供。また、各種団体の訪問等がさらに活気を与え、笑顔あふれる生活の継続のための支援を実施できた。

☆金木生活支援ハウス（入居定員 12 名）☆市浦生活支援ハウス（入居定員 20 名）

金 木	実利用者	10名	0名	0名	0名	9名	0名	0名	9名	10名	10名	10名	68名
	利用延べ数	259	0	0	0	10	0	0	215	310	310	280	308 1,692
市 浦	実利用者	5名	5名	4名	4名	4名	3名	3名	5名	6名	5名	6名	56名
	利用延べ数	150	133	120	124	107	90	93	108	155	155	152	186 1,573

令和4年度 五所川原市社会福祉協議会 各種行事及び庶務報告

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日

月	日	行事・会議（研修）名	場所等
4月	3	第58回西北五視力障害者福祉会定例総会	中央公民館
	15	生活支援コーディネーター情報交換会	社協会議室
	22	青森県市町村社協連絡会 第1回役員会	県民福祉プラザ
	23	こども宅食おすそわけ便	地域福祉センター
	25	青森県共同募金会 新任職員等研修会（～27日）	オンライン開催
	26	高年齢者雇用活用について説明	社協
	27	五所川原市共同募金委員会 監事監査会	社協会議室
5月	10	五所川原地区更生保護女性会 総会	ホテルサンルート五所川原
	10	「コープあおもりからの農産品の受取り」に係る説明会	オンライン開催
	11	厚生年金保険・健康保険 資格及び報酬等調査	弘前年金事務所
	12	都市町村社協事務局長連絡会議	オンライン開催
	13	生活支援コーディネーター情報交換会	社協会議室
	13	五所川原市子どもの幸せ推進協議会 代表者会議	五所川原市役所
	18	東北福祉大学 社会福祉援助技術実習連絡会	オンライン開催
	18	五所川原市共同募金委員会 運営委員会	市民学習情報センター
	19	市民生委員児童委員連絡協議会 総会	プラザマリュウ
	20	福祉安心電話サービス事業担当者会議	オンライン開催
	20	五所川原市老人クラブ連合会 総会	市民学習情報センター
	23	ふくし出前講座（はなや嘉会：脳トレ）	嘉瀬コミュニティ消防センター
	24	正副会長会議	社協役員室
	24	「青森しあわせネットワーク」令和4年度活動説明会	オンライン開催
	25	五所川原市認知症フォーラム第1回実行委員会	オンライン開催
	26	第1回基幹的社協等連絡会議	県民福祉プラザ
	26	地域ケア会議	オンライン開催
	28	五所川原市連合婦人会 定期総会	中央公民館
	29	こども宅食おすそわけ便 おさがり交換会	地域福祉センター
	30	コープ農産物受取説明会	コープ浪岡
	30	生活困窮者自立相談支援事業 支援調整会議	五所川原市役所

	31	第1回検討・専門的判断会議	オンライン開催
	31	子ども・子育てフェスティバル第3回実行委員会	五所川原市役所
6月	1	第1回監事監査	社協会議室
	2	第1回五所川原市在宅医療・介護連携推進実務者会議	オンライン開催
	3	放課後子ども総合プラン支援員研修会（前期）	柏ふるさと交流センター
	6	中核機関の広域設置に係る会議	鰺ヶ沢町社会福祉協議会
	10	生活支援コーディネーター情報交換会	社協相談室
	10	第1回理事会	社協会議室
	10	栄地区民生委員児童委員協議会 定例会	栄コミセン
	11	市ボランティア連絡協議会 「ちよこっとゴミ拾い」	菊が丘公園
	15	第1回協力機関業務連絡会	五所川原市役所
	22	五所川原市認知症フォーラム第2回実行委員会	五所川原市役所
	24	正副会長会議	社協役員室
	24	市町村社会福祉協議会連絡会総会	アラスカ
	24	社協役員会・監事等研修会	オンライン開催
	25	こども宅食おすそわけ便	地域福祉センター
	26	第22回市老連ゲートボール親善交流大会	つがる克雪ドーム
	27	日常生活自立支援事業 専門員・生活支援員研修会	オンライン開催
	27	生活困窮者自立支援制度従事者養成研修（～28日）	オンライン開催
	27	第1回五所川原市成年後見制度利用促進委員会	五所川原市役所
	28	つがる西北五広域連合地域自立支援協議会総会	中央公民館
	29	ふくし出前講座（「福祉ってなんだろう？」講座）	五所川原小学校
	29	定時評議員会	市民学習情報センター
	29	社会福祉施設に係る安全衛生対策説明会	西北労働基準協会
	29	生活困窮者自立相談支援事業 支援調整会議	市民学習情報センター
7月	3	北斗エンタープライズ第21回合同発表会	オルテンシア
	4	障害福祉サービス等説明会	中央公民館
	4	地域の障がい福祉関係団体及び事業者の広報イベント	中央公民館
	4	社会福祉援助技術実習 東北福祉大学1名（～8/4）	本所
	6	第71回青森県社会福祉大会第1回実行委員会	ホテル青森
	6	五所川原市高齢社会対策検討委員会	市民学習情報センター
	12	青森保健大学 ソーシャルワーク実習Ⅰ指導者会議	オンライン開催
	12	青森県同行援護従事者養成研修（一般過程）（～13日）	アスパム

8月	15	生活支援コーディネーター情報交換会	オンライン開催
	17	カラオケみちのく チャリティー歌謡ショー	オルテンシア
	20	地域ケア会議	オンライン開催
	20	ハラスメント担当職員研修会	オンライン開催
	21	民児連協・生活相談支援部会研修会	市民学習情報センター
	21	第1回つがる西北五社協職員連絡会幹事会	オンライン開催
	22	中核機関の広域設置に係る会議	つがる市松の館
	23	ふくし出前講座（介護予防について）	沢部集会所
	25	鶴田町社協 地域福祉活動計画策定に係る視察	社協会議室
	25	第1回五所川原市子どもの幸せ推進協議会 実務者会議	五所川原市役所
	27	五所川原市認知症フォーラム第3回実行委員会	五所川原市役所
	27	生活困窮者自立相談支援事業 支援調整会議	市民学習情報センター
	28	経営管理体制の強化法研修	オンライン開催
	31	「藤都流舞踊の祭典」2022 チャリティー-藤都流 第20回公演	オルテンシア
9月	5	生活支援コーディネーター情報交換会	オンライン開催
	8	ケア付き立佞武多「夢かなえ隊」	市内（運行コース）
	8	社会福祉援助技術実習受入 弘前学院大学1名（～8/19）	本所
	9	正副会長会議	社協役員室
	9	青森県共同募金会 第1回事務局長会議	オンライン開催
	9	市町村社協におけるフードバンクに関する説明会	オンライン開催
	14	五所川原市災害ボランティアセンター設置	本所
	17	第2回協力機関業務連絡会	五所川原市役所
	17	第2回理事会	社協会議室
	19	日常生活自立支援事業 関係機関連絡会議	オンライン開催
	24	共同募金委員会理事会	リモート
	31	日常生活自立支援事業 預かり書類等現物検査	中泊町社協、鶴田町社協
	6	青森県同行援護従事者養成研修（応用過程）（～7日）	アスパム
	6	ふくし出前講座（「福祉ってなんだろう？」講座）	松島小学校
	9	五所川原市共同募金委員会・募金活動推進会議	市民学習情報センター
	9	地区社協連絡会	市民学習情報センター
	9	中小企業のための女性活躍推進オンライン研修会	オンライン開始
	11	キッズフェスタ 2022 in五所川原	公民館/市民学習センター
	15	共同募金委員会事務担当者会議	オンライン開催

10 月	17	愛の輪レクリエーション	市民体育館
	18	第 56 回西北五視力障害者福祉社会福祉大会	立佞武多の館
	21	地域ケア会議	五所川原市役所
	21	生活支援コーディネーター情報交換会	社協会議室
	22	「青森しあわせネットワーク」第 1 回運営委員会	県民福祉プラザ
	23	認知症フォーラム	オルテンシア
	27	日常生活自立支援事業 預かり書類等現物検査	市浦支所・金木支所
	28	日常生活自立支援事業 預かり書類等現物検査	本所
	28	チバントリー	市浦支所・金木支所
	30	第 1 回事務局長連絡会	社協会議室
	30	五所川原市災害ボランティアセンター閉鎖	本所
	1	五所川原市街頭募金	エルムの街、他
	6	五所川原市指定居宅介護支援事業所の実施指導	市浦支所
	7	ふくし出前講座（高齢者疑似体験・点字体験）	中央小学校
11 月	7	生活支援コーディネーター情報交換会	社協会議室
	11	ふくし出前講座（高齢者疑似体験）	松島小学校
	12	第 3 回協力機関業務連絡会	五所川原市役所
	13	チバントリー	本所
	13	ふくし出前講座（高齢者疑似体験・車椅子体験）	栄小学校
	18	五所川原市老人クラブ連合会 第 16 回芸能大会	市中央公民館
	22	第 65 回五所川原市社会福祉大会	オルテンシア
	23	金木老人クラブ連合会 芸能発表会	金木公民館
	24	第 2 回五所川原市子どもの幸せ推進協議会 実務者会議	五所川原市役所
	25	子ども・子育てフェスティバル第 4 回実行委員会	五所川原市役所
	26	安全運転管理者講習	オルテンシア
	29	こども宅食おすそわけ便	地域福祉センター
11 月	1	こどもの居場所ネットワークミーティング	中央公民館
	2	五所川原市認知症フォーラム第 4 回実行委員会	五所川原市役所
	2	第 71 回青森県社会福祉大会	青森市文化会館
	4	ふくし出前講座（車椅子体験）	松島小学校
	8	放課後児童クラブ説明会	中央小学校
	9	青森県立保健大学実習生 1 名（～25 日）	本所
	9	第一地区共同募金推進会議	中央コミセン

	10	栄地区ふれあい訪問	栄コミセン
	11	生活支援コーディネーター情報交換会	社協会議室
	14	ふくし出前講座（手話ってなあに、点字体験）	栄小学校
	15	災害ボランティアセンター設置運営者研修 市町村社協連絡会 災害ボランティア研修	アピオ青森
	16	青森県防災ボランティアコーディネーター連携研修会	はまなす会館
	16	市区町村社協介護サービス経営研究会	オンライン開催
	16	地域ケア会議	五所川原市役所
	17	五所川原市たすけあい資金運営委員会	社協会議室
	18	鳥森町内会サロン	鳥森防災センター
	21	生活支援コーディネーター部会	オンライン開催
	22	チバントリー	本所・金木・市浦
	25	年金委員・健康保険委員事務研修会	オンライン開催
	29	第3回検討・専門的判断会議	オンライン開催
	30	正副会長会議	社協役員室
	30	第2回つがる西北五社会福祉協議会職員連絡会幹事会	つがる市社協森田支所
12月	2	青森県市町村社協連絡会 令和4年度介護保険部会	オンライン開催
	9	生活支援コーディネーター情報交換会	社協会議室
	12	日常生活自立支援事業 第2回運営監視部会	県民福祉プラザ
	13	中核機関打合せ	五所川原市役所
	13	つがる西北五広域連合地域自立支援協議会 相談支援部会	オンライン開催
	14	第4回協力機関業務連絡会	五所川原市役所
	15	第3回理事会	社協会議室
	17	こども宅食おすそわけ便	地域福祉センター
	20	民生委員児童委員及び主任児童委員委託状伝達式	中央公民館
	20	市民防災講座「地域の受援力を高めよう」	社協会議室
	20	「青森しあわせネットワーク」推進会議	オンライン開催
	20	市町村共同募金委員会 市町村社会福祉協議会巡回訪問	社協役員室
	21	「青森県地域共生社会」西北モデル強化事業合同研修会	オンライン開催
	21	後期社会福祉援助技術実習 実習連絡会	オンライン開催
	21	「食でつながるフェスタinあおもり」第1回実行委員会	アラスカ
	21	五所川原市高齢社会対策検討委員会	市民学習情報センター
	21	第1回つがる西北五広域連合病院事業運営審議会	つがる総合病院

	22	法人後見実施社協連絡会議	オンライン開催
	23	第1回臨時評議員会	市民学習情報センター
	24	出張サンタクロース事業	地域福祉センター
	27	支援調整会議	オンライン開催
1月	12	五所川原市 財政援助団体等監査（実地監査）	社協会議室
	13	生活支援コーディネーター情報交換会	社協会議室
	16	下平井町内会サロン 訪問	北部コニセン
	18	地域ケア会議	オンライン開催
	23	青森県地域包括支援センター職員研修（～1/24）	オンライン開催
	24	ケアプランデータ連携システム説明会	オンライン開催
	25	「食でつながるフェスタinあおもり」第2回実行委員会	県民福祉プラザ
	26	青森県介護支援専門員実務者研修実習 指導者養成研修	オンライン開催
	27	令和4年度社会福祉法人に係る指導監査	社協会議室
	27	検討・専門的判断会議	オンライン開催
2月	1	令和4年8月大雨水害の福祉避難報告会	五所川原市役所
	3	あおもりフードバンク設立セミナー	アピオ青森
	4	避難所運営に関する研修会の開催について	市民学習センター
	5	おさがり服交換会	地域福祉センター
	6	長野県移動サービス事例報告会	オンライン開催
	8	生活福祉資金貸付事業に係る臨時事務局長会議	オンライン開催
	8	生活福祉資金貸付事業担当者研修会	オンライン開催
	8	持続可能な権利擁護支援モデル事業研修会	オンライン開催
	9	「あおもりしあわせネットワーク」コミュニティソーシャルワーカー養成研修	オンライン開催
	10	生活支援コーディネーター情報交換会	社協会議室
	13	重点課題解決研修	オンライン開催
	14	第3回五所川原市子どもの幸せ推進協議会 実務者会議	五所川原市役所
	14	青森県介護支援専門員実務者研修実習2名（～16日）	本所
	15	五所川原市認知症フォーラム第5回実行委員会	五所川原市役所
	16	藻川自治会包括出前講座へ訪問	藻川コニセン
	21	青森県立保健大学 実習指導者等情報交換会	オンライン開催
	21	市町村社協ボランティア担当者会議・大雨災害振り返り会議	オンライン開催
	21	医療介護情報交換会	オンライン開催
	22	正副会長会議	社協役員室

	24	包括健康講座へ訪問	コミセン長橋
	25	こども宅食おすそわけ便	地域福祉センター
	28	第2回基幹的社協等連絡会議	オンライン開催
3月	7	地域ケア個別会議	オンライン開催
	7	青森県市町村社会福祉協議会 令和4年度第2回役員会	県民福祉プラザ
	8	第4回五所川原市在宅医療・介護連携推進実務者会議	オンライン開催
	8	第5回理事会	本所会議室
	9	サロンリーダー情報交換会	プラザマリュウ
	9	地域の絆づくり講演会	プラザマリュウ
	10	第2回事務局長連絡会	本所会議室
	15	地域ケア会議	オンライン開催
	16	適切なケアマネジメント普及推進セミナー	オンライン開催
	17	第2回臨時評議員会	学習情報センター
	20	「食で繋がるフェスタ in あおもり」第3回実行委員会	ホテル青森
	20	第5回協力機関業務連絡会	五所川原市役所
	23	つがる西北五社会福祉協議会職員連絡会会員研修会	つがる市木造福祉交流センター
	23	成年後見制度利用促進委員会	五所川原市役所
	26	つがる逍遙会舞踊の集いチャリティー	プラザマリュウ

### 事業報告付属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため

事業報告の付属書類は作成していない。